

有機農業・有機食品に関する 消費者意識等（広島県）

令和7年1月

中国四国農政局 広島県拠点

1 分析の目的

本分析は、令和5年度に実施された有機農業・有機食品に関する消費者アンケート調査結果を基に、全国及び広島県内に在住する消費者の有機農業・有機食品に対する意識・意向について、性別や年齢層による違い、また、大消費地である東京都・大阪府との違いを可視化しています。

有機農畜産物を生産する生産者等に、購入者である消費者の意識・意向を理解していただくことにより、地域段階における有機農業の推進の基礎資料とすること等を目的としています。

2 使用データ（アンケート調査）の概要

「有機農業・有機食品に関する消費者意識調査・分析業務」の中で実施したアンケート調査結果

（参考）アンケート調査の概要（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/bunseki/report/r5/attach/pdf/yuuki_r5-1.pdf

(1) アンケートの対象者

民間事業者が保有するアンケートモニター

(2) 実施期間

令和5年12月上旬～同年12月下旬まで

2 使用データ（アンケート調査）の概要（つづき）

(3) アンケート調査の進め方

●アンケート調査は、「有機食品に対する消費者セグメント」を分類するための「①スクリーニング調査※」、セグメントを分類しそれぞれに詳細を調査する「②本調査」の2段階で実施。

※調査対象者の条件抽出をするために、本調査に先駆けて行う事前調査

●スクリーニング調査では、消費者の「有機食品の認知」、「有機食品に対する関心」、「有機食品の利用」の回答内容により、「A：積極利用層」、「B：低頻度利用・未利用層」、「C：非関心層・認知」、「D：非関心層・非認知」の4つのセグメントに分類。

●本調査では、スクリーニング調査結果をもとに、セグメントごとの出現比率に応じて各都道府県500サンプル以上となるように回収。

セグメントごとに聴取したい設問の出し分けを設定し、該当する対象者に聴取したい設問項目を調査。

(4) アンケートの項目

- 「有機」・「オーガニック」という言葉の認知・関心
- 有機食品の購入価格に対する意向
- 有機食品を購入する、または購入しない理由
- 有機食品の購入意向 等

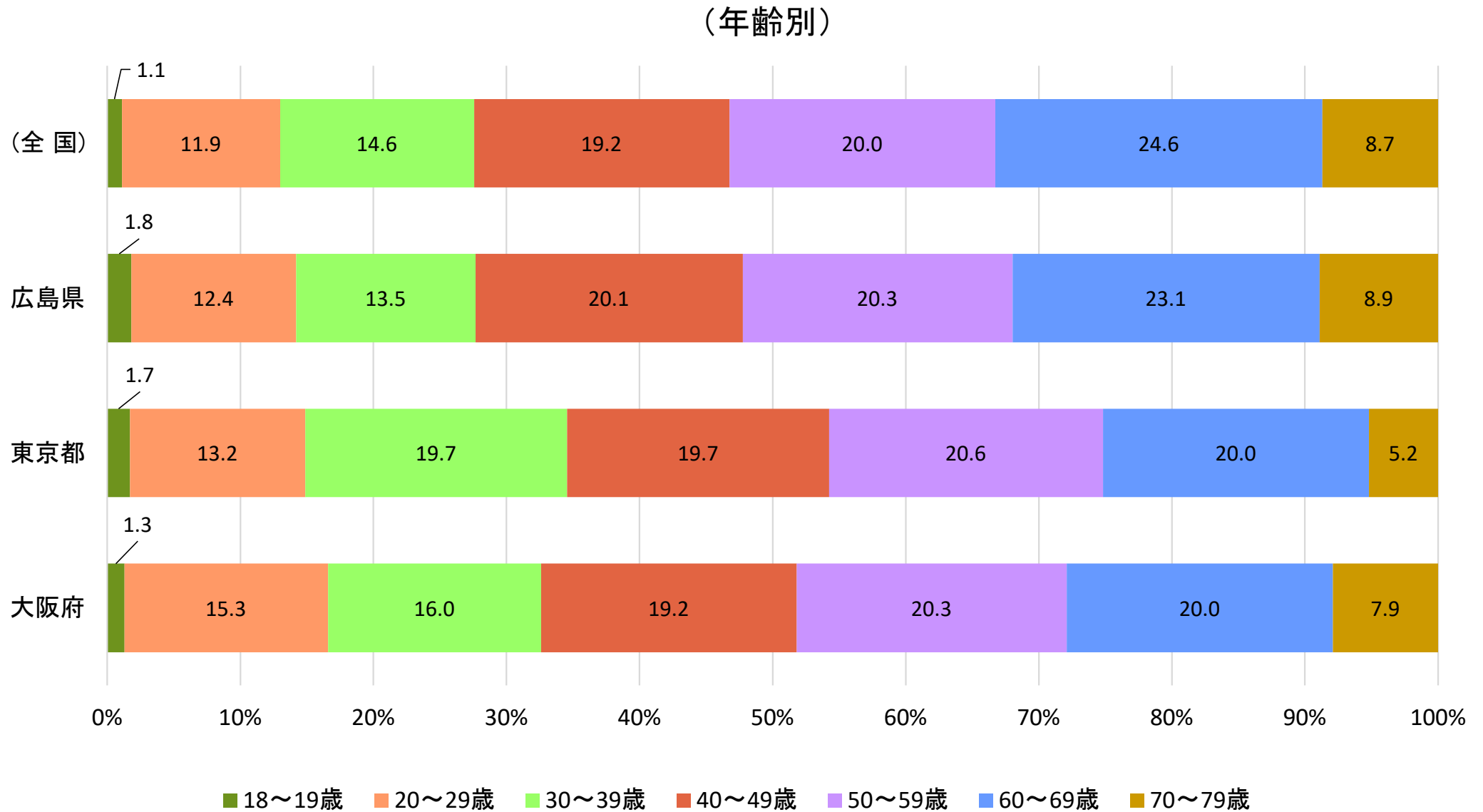
3 利用上の注意

- 1 本分析に掲載している全国の回答割合については、令和5年10月1日現在の都道府県別の人口推計により加重平均した推計値です。
- 2 統計数値の四捨五入の関係から、構成比の内訳の計が100%にならない場合があります。

アンケート調査 集計結果

年齢別構成【都府県別】

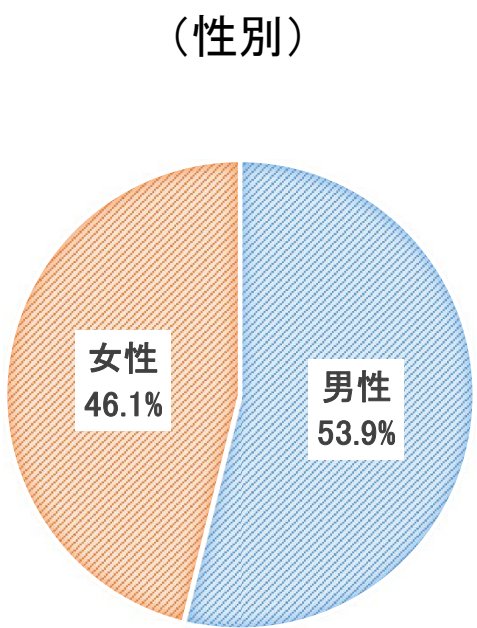
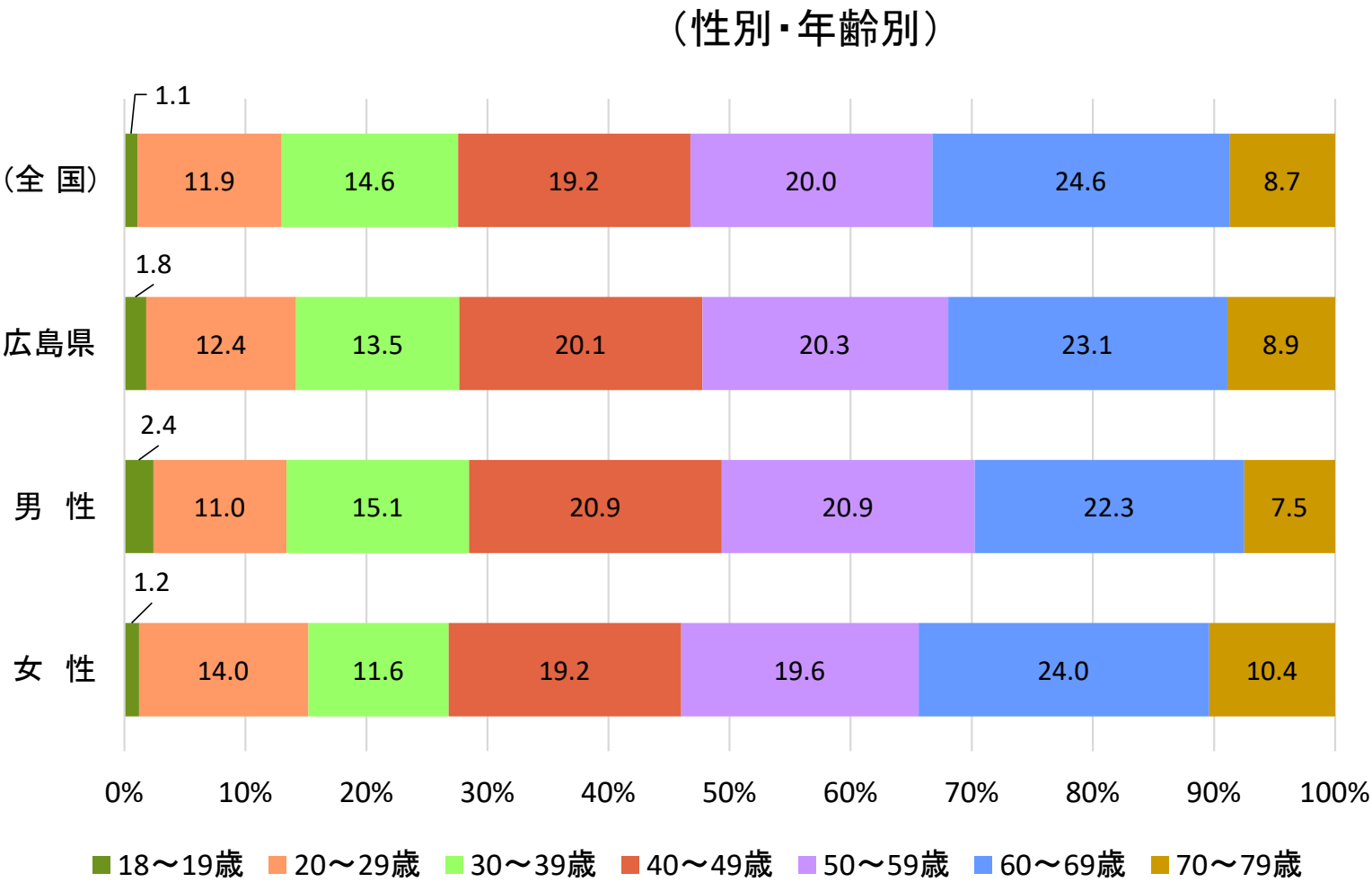
広島県542名、東京都539名、大阪府531名



▶ Q1 あなたの年齢(性別)をお答えください。

性別・年齢別構成【広島県】

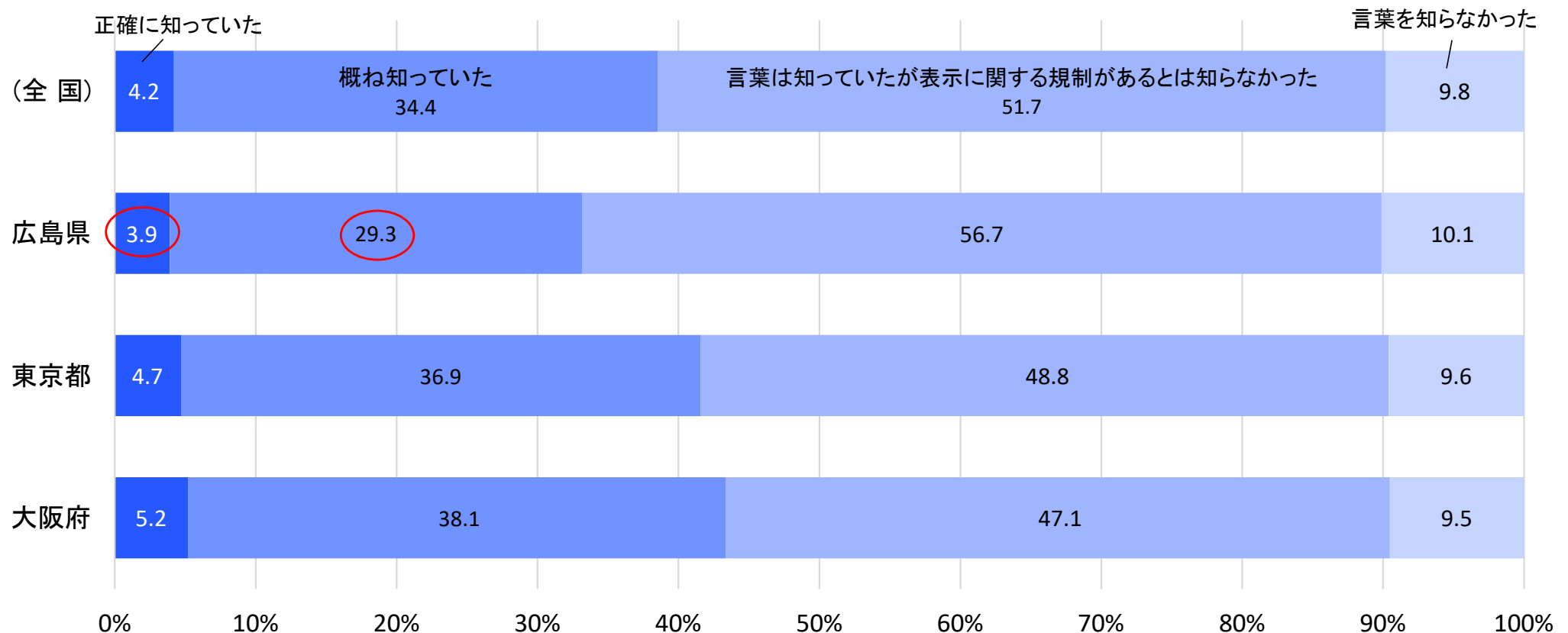
広島県542名（男性292名、女性250名）



有機やオーガニックという言葉の理解状況【都府県別】

広島県358名、東京都363名、大阪府367名

- ・「有機」や「オーガニック」の表示は、農林水産省の登録を受けた第三者機関（登録認証機関）が認証した事業者が有機JASマークを付した食品だけに許されていることについて、半数以上が「言葉は知っていたが表示に関する規制があるとは知らなかった」（56.7%）と回答しており、次いで「概ね知っていた」（29.3%）、「言葉を知らなかった」（10.1%）の回答が続く。
- ・広島県は、東京都、大阪府に比べ「正確に知っていた」や「概ね知っていた」の比率が低く、言葉自体は知っているものの、有機やオーガニックという言葉に対する理解が進んでいないことがうかがえる。



- ▶ Q2 あなたは「有機」、「オーガニック」という言葉についてどの程度ご存じでしたか。
下の説明を読んで、最も当てはまるものを1つお選びください。
(事前のスクリーニング調査で「有機食品という言葉を知っていますか」という設問に「知らない」と回答した方を除く)

有機JASマーク



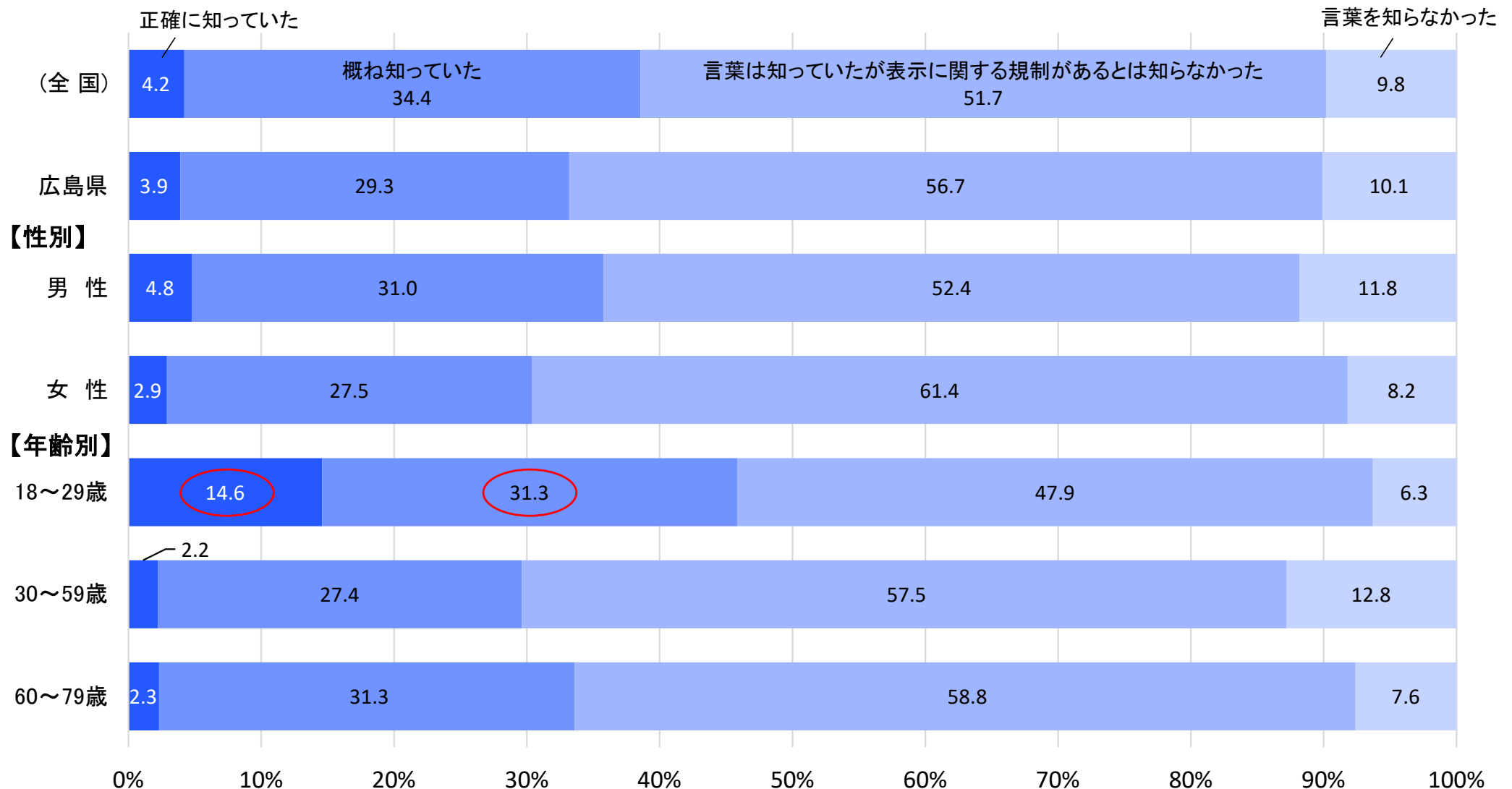
※「有機」または「オーガニック」と表示されている食品とは...

有機農産物とは、化学肥料等や農薬を基本的には使わず、種をまく、あるいは苗を植える前2年以上の間、堆肥等による土づくりを行った畑や田んぼでつくられた農産物のことです。
また、有機加工食品とは、有機農産物を使って製造・加工されたもので、保存や加工の段階でも化学的に合成された添加物や薬剤の使用をできるだけ避けて製造されたものです。
JAS法上、「有機」や「オーガニック」の表示は、農林水産省の登録を受けた第三者機関（登録認証機関）が認証した事業者が有機JASマークを付した食品だけに許されています。
なお、有機JASの認証を取得していないものの、有機JAS認証を取得した農産物と同等の農法で栽培された農産物もあり、これらの農産物に「栽培期間中農薬化学肥料不使用」等と表示して販売していることもあります。

有機やオーガニックという言葉の理解状況【広島県】性別・年齢別

広島県358名（男性187名、女性171名、18～29歳48名、30～50歳代179名、60～70歳代131名）

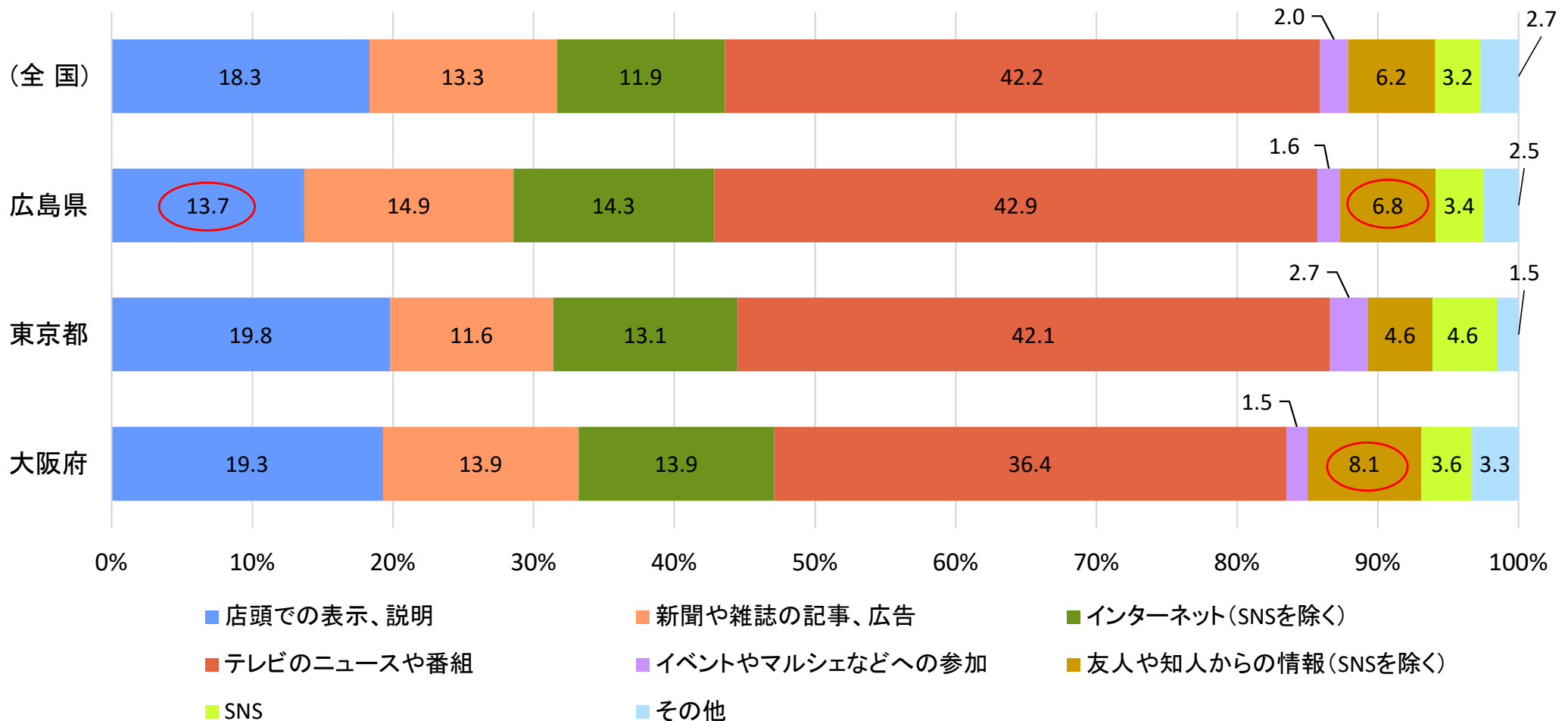
・「有機」や「オーガニック」の表示は、農林水産省の登録を受けた第三者機関（登録認証機関）が認証した事業者が有機JASマークを付した食品だけに許されていることについて、性別による差はあまりみられなかったが、年齢別では、18～29歳の若年層において、言葉の理解度が高いことがうかがえる。



有機やオーガニックという言葉の内容を知ったきっかけ【都府県別】

広島県322名、東京都328名、大阪府332名

- ・有機やオーガニックという言葉の内容を知るきっかけとして、最多回答は「テレビのニュースや番組」(42.9%)、次いで「新聞や雑誌の記事、広告」(14.9%)、「インターネット(SNSを除く)」(14.3%)の回答が続く。
- ・広島県は、東京都や大阪府で回答の多かった「店頭での表示、説明」の比率が低い。
- ・広島県や大阪府では、「友人や知人からの情報(SNSを除く)」など、私的コミュニケーションやクチコミ情報についても、言葉を知るきっかけの1つとなっていることがうかがえる。



▶ Q3 あなたが「有機」、「オーガニック」という言葉の内容を知ったきっかけは何ですか。

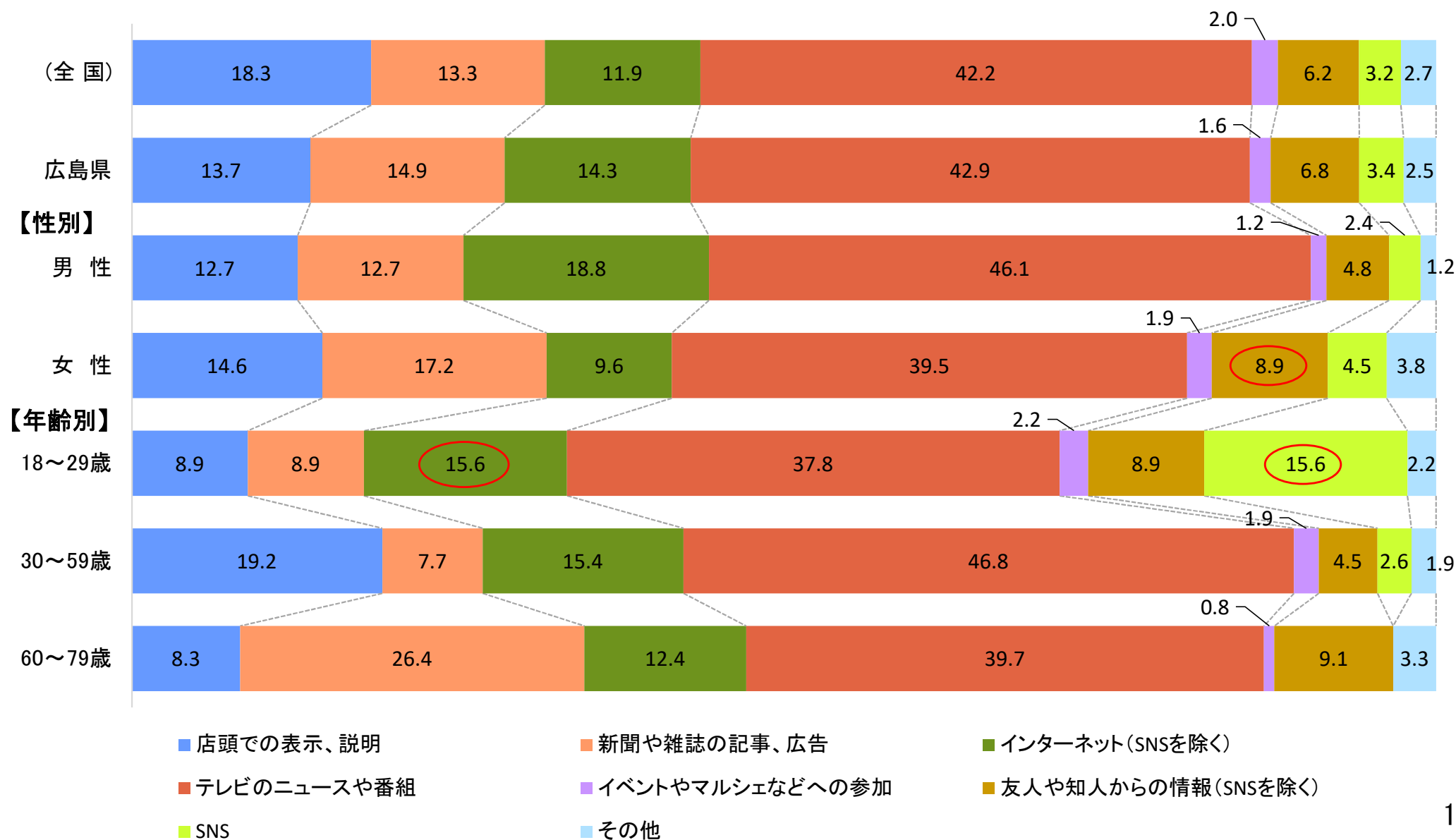
最も当てはまるものを1つお選びください。(Q2で「言葉をしらなかった」と回答した方を除く)

有機やオーガニックという言葉の内容を知ったきっかけ【広島県】性別・年齢別

広島県322名（男性165名、女性157名、18～29歳45名、30～50歳代156名、60～70歳代121名）

・有機やオーガニックという言葉の内容を知るきっかけとして、女性は「友人や知人からの情報（SNSを除く）」（8.9%）も比率が高く、私的コミュニケーションやクチコミ情報も、言葉を知るきっかけの1つとなっていることがうかがえる。

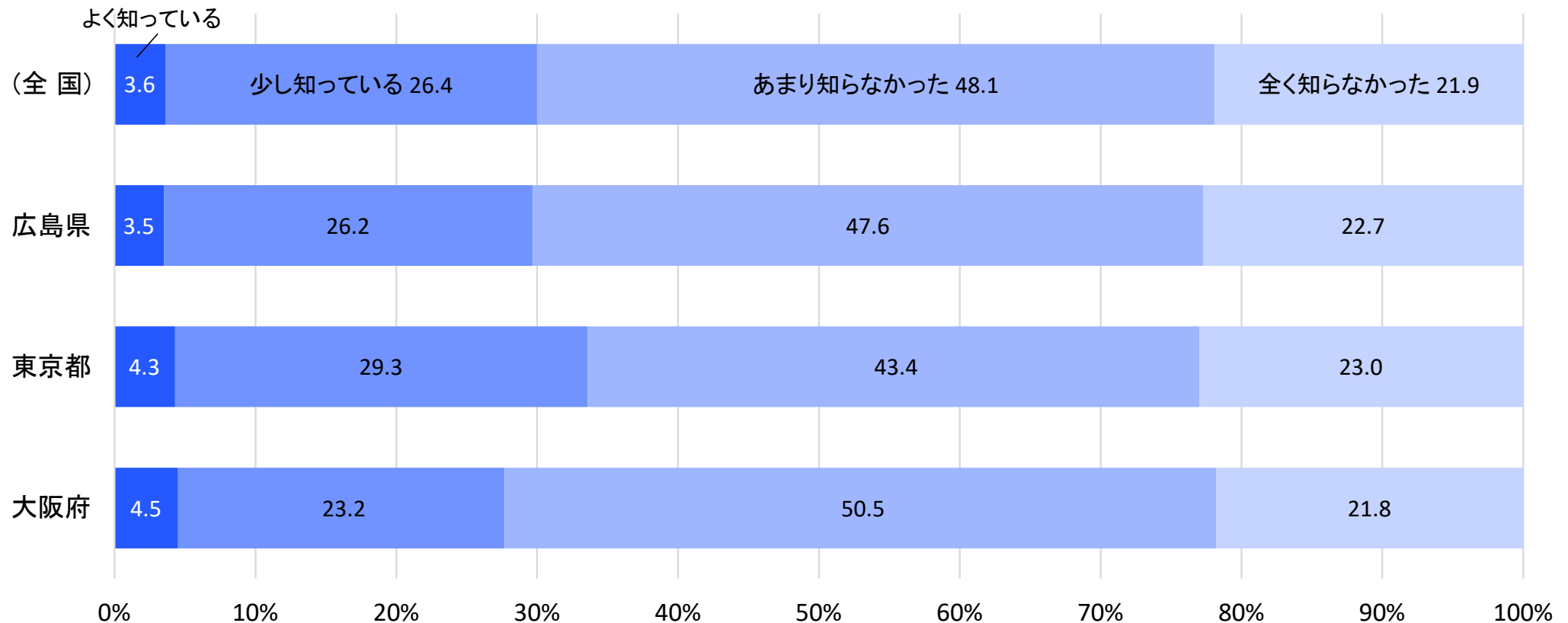
・年齢別では、18～29歳の若年層において、「インターネット（SNSを除く）」（15.6%）や「SNS」（15.6%）など、情報通信サービスの比率が高く、ネットを使用した情報発信も重要なツールの1つになっていることがうかがえる。



有機農業の効果の認知状況【都府県別】

広島県542名、東京都539名、大阪府531名

- ・有機農業が生物多様性や地球温暖化の防止に効果があることについて、最多回答は「あまり知らなかった」(47.6%)、次いで「少し知っている」(26.2%)、「全く知らなかった」(22.7%)の回答が続き、有機農業の効果について、いまだに認知されていないことがうかがえる。
- ・東京都や大阪府においても、同様の結果となった。



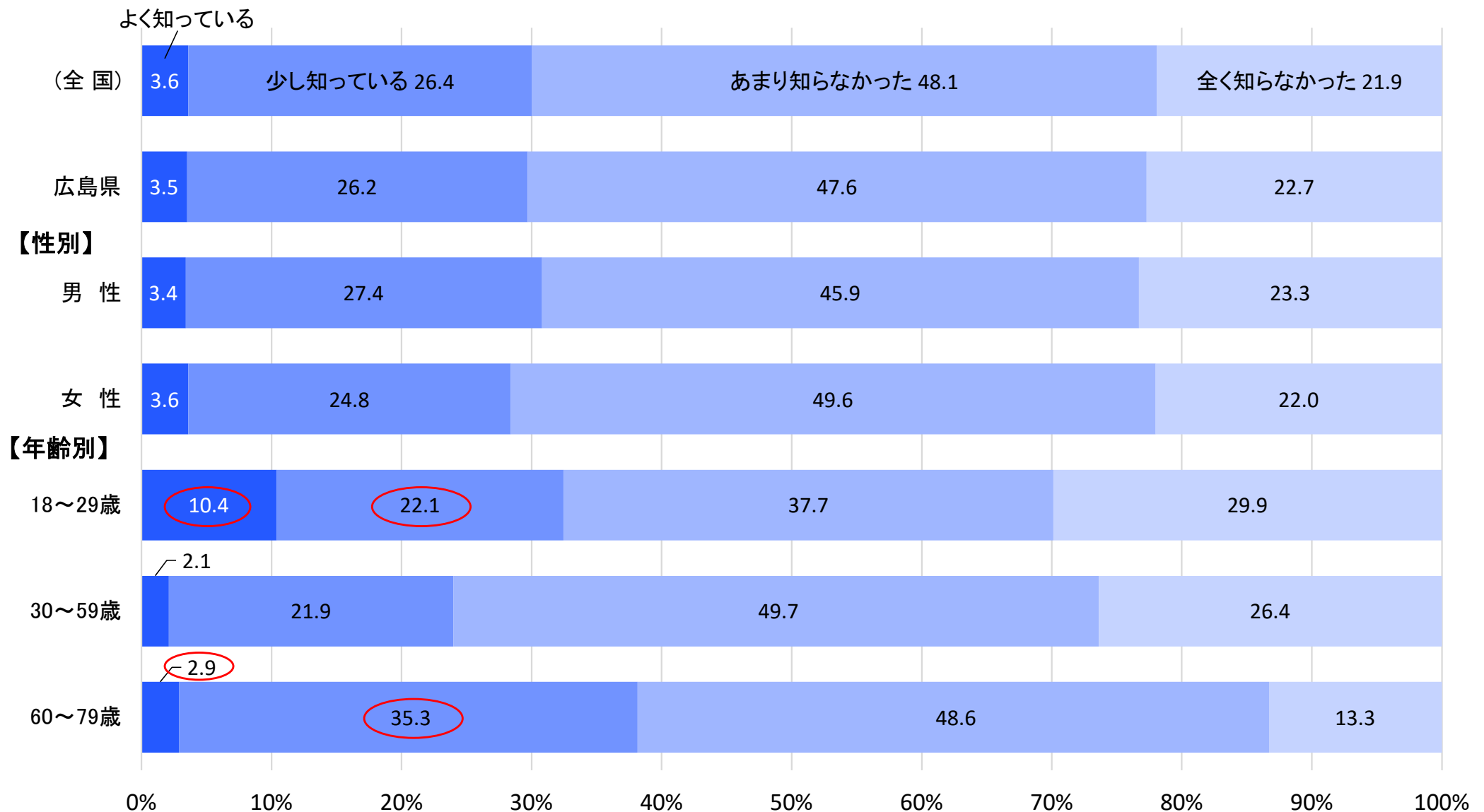
▶ Q4 有機農業が、生物多様性の保全や地球温暖化の防止に効果があることについて、どの程度ご存じでしたか。

最も当てはまるものを1つお選びください。

有機農業の効果の認知状況【広島県】性別・年齢別

広島県542名（男性292名、女性250名、18～29歳77名、30～50歳代292名、60～70歳代173名）

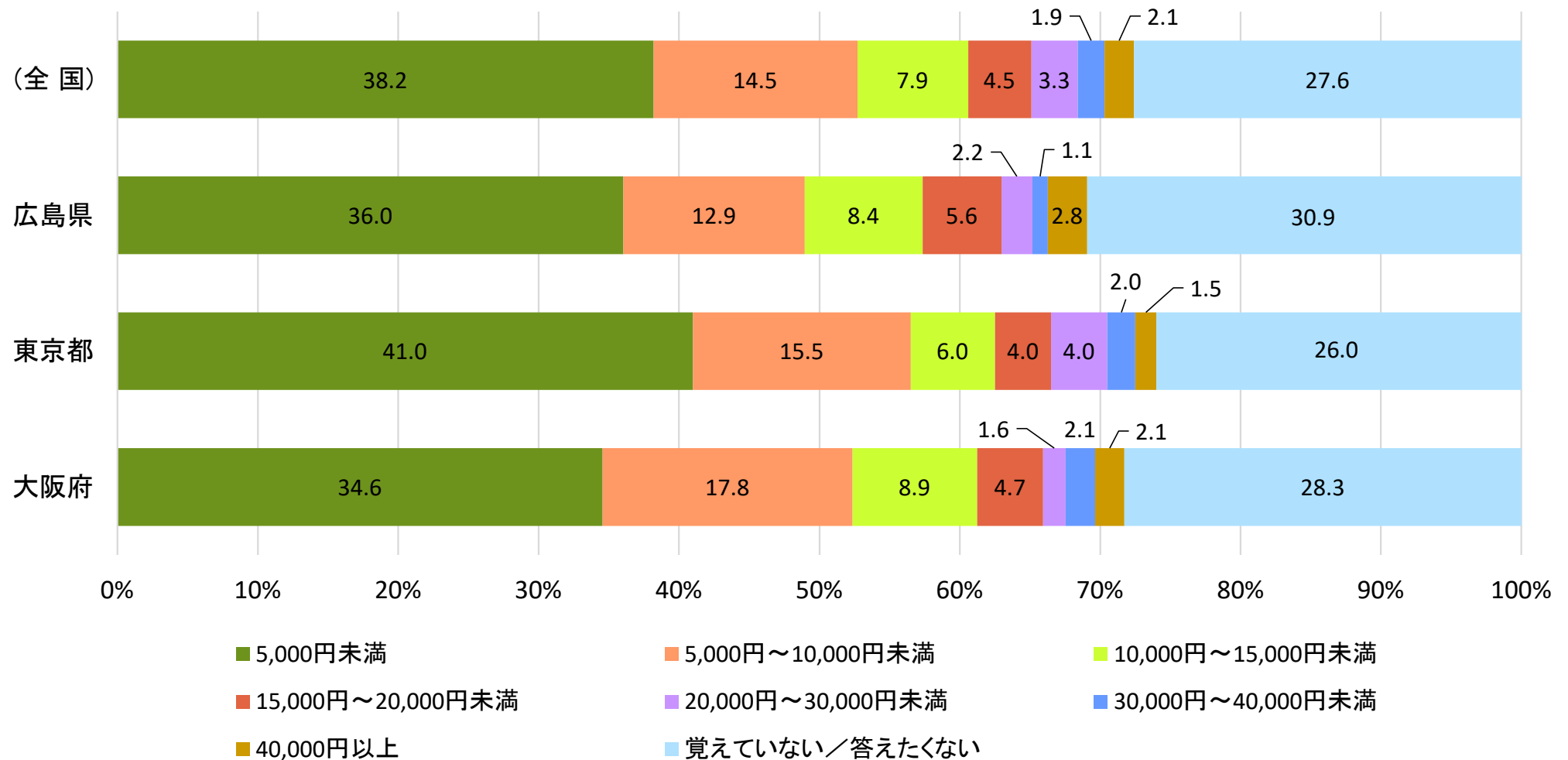
- ・有機農業が生物多様性や地球温暖化の防止に効果があることについて、性別による認知の差は少ないことがうかがえる。
- ・年齢別では、18～29歳や69～79歳の年齢層において、「よく知っている」や「少し知っている」の比率が高いことから、一部の年齢層では有機農業の効果について認知されていることがうかがえる。



世帯における毎月の有機食品にかかる食費(外食を含める)【都府県別】

広島県178名、東京都200名、大阪府191名

- ・外食を含む世帯における有機食品にかかる食費は、「覚えていない／答えたくない」(30.9%)と回答した者を除くと、最多回答は「5,000円未満」(36.0%)となり、次いで「5,000円～10,000円未満」(12.9%)、「10,000円～15,000円未満」(8.4%)の回答が続く。
- ・広島県は、東京都や大阪府に比べ、毎月の有機食品にかかる金額が高い人の比率が若干高いことがうかがえる。



▶ Q5 あなたの世帯の毎月の有機食品にかかる食費(外食を含める)はいくらですか。

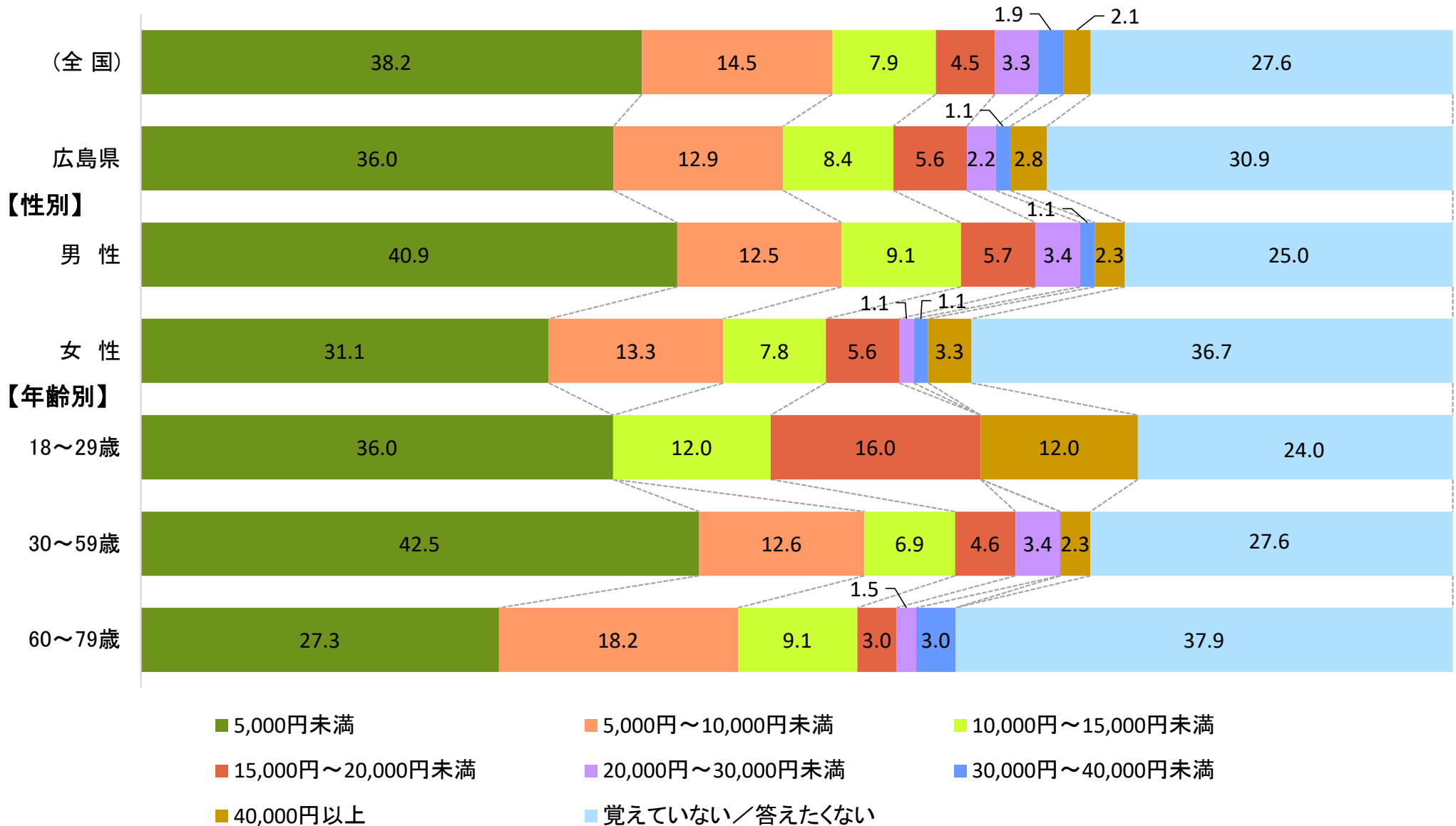
※2023年を平均してお答えください。

(事前のスクリーニング調査で「有機食品を利用する」(ほぼ毎日～年に1回程度)と回答した方のみ回答)

世帯における毎月の有機食品にかかる食費(外食を含める)【広島県】性別・年齢別

広島県178名(男性88名、女性90名、18～29歳25名、30～50歳代87名、60～70歳代66名)

・外食を含む世帯における有機食品にかかる食費は、男性のほうが「5,000円未満」の比率も高いものの、全体的には女性より高いことがうかがえる。
・年齢別では、30～59歳の約4割の者が「5,000円未満」(42.5%)と回答しているものの、概ね年齢層が高くなるにつれて有機食品にかかる金額は低くなる傾向がみられる。

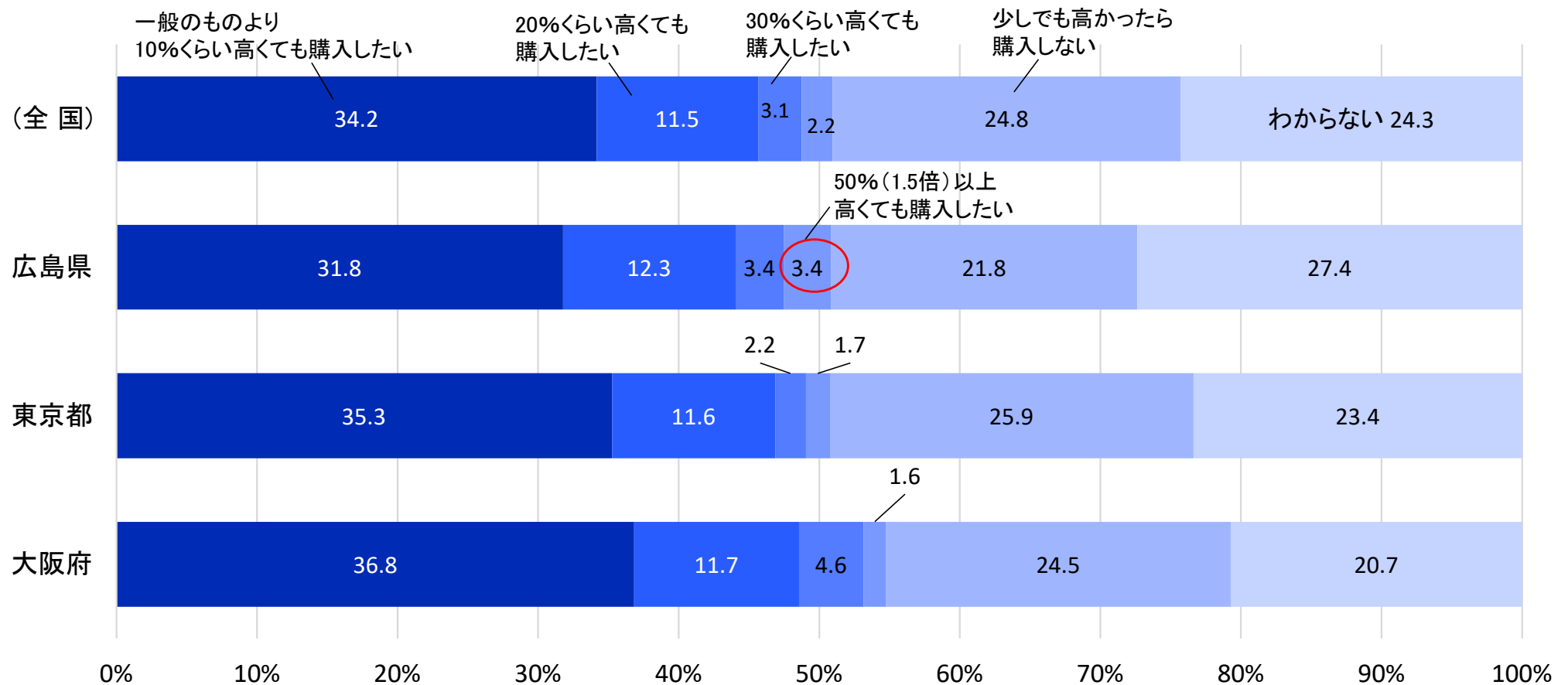


有機食品の購入価格に関する意向【都府県別】

・普段の食事に使われる食品(米、野菜等)

広島県358名、東京都363名、大阪府367名

・有機食品で普段の食事に使われる食品(米、野菜等)を購入する場合、「わからない」(27.4%)と回答した者を除くと、最多回答は「10%くらい高くても購入したい」(31.8%)となり、次いで「少しでも高かったら購入しない」(21.8%)、「20%くらい高くても購入したい」(12.3%)の回答が続く。
・広島県は、東京都や大阪府に比べ、「50%(1.5倍)以上高くても購入したい」(3.4%)の比率が高いことから、値段が高くなっても有機食品を購入したいとの意向を持っていることがうかがえる。



▶ Q6-1 あなたは有機食品を購入するに当たって、通常の食品と比べてどのくらい価格が高くても購入しますか。

最も当てはまるものを1つお選びください。: 普段の食事に使われる食品(米、野菜等)

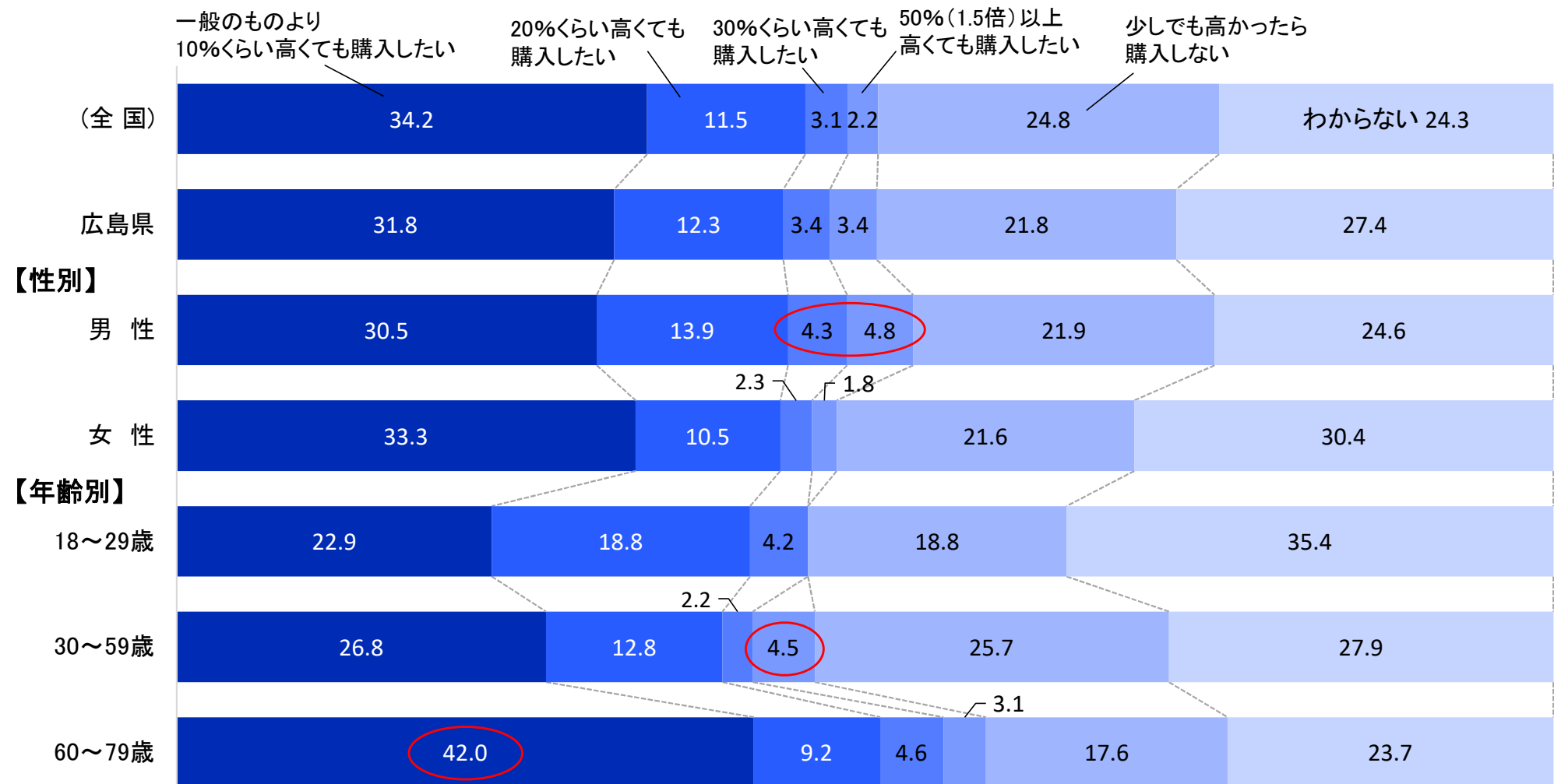
(事前のスクリーニング調査で「有機食品という言葉を知っている」という設問に「知らない」と回答した方を除く)

有機食品の購入価格に関する意向【広島県】性別・年齢別

・普段の食事に使われる食品(米、野菜等)

広島県358名(男性187名、女性171名、18～29歳48名、30～50歳代179名、60～70歳代131名)

・有機食品で普段の食事に使われる食品(米、野菜等)を購入する場合、男性のほうが値段が高くなっても購入したいとの意向を持っていることがうかがえる。
・年齢別では、30～59歳で「少しでも高かったら購入しない」(25.7%)と回答する者がいる一方、「50%(1.5倍)以上高くても購入したい」(4.5%)と高額でも購入したい者もいることがうかがえる。また、60～79歳の約4割の者が、一般のものより10%くらい高くても購入したいと考えていることがうかがえる。

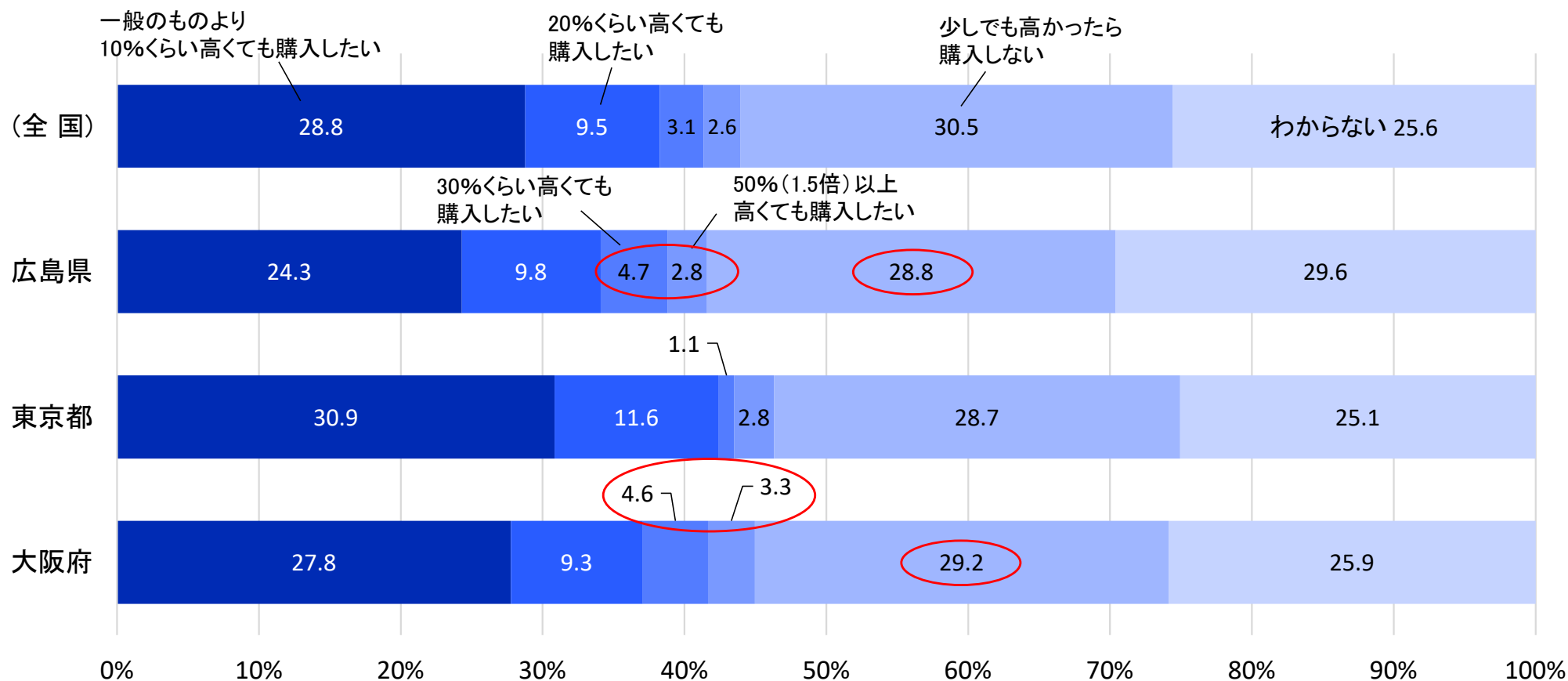


有機食品の購入価格に関する意向【都府県別】

・嗜好品に近い食品（飲料、酒類等）

広島県358名、東京都363名、大阪府367名

・有機食品で嗜好品に近い飲料、酒類等の食品を購入する場合、「わからない」(29.6%)と回答した者を除くと、最多回答は「少しでも高かったら購入しない」(28.8%)となり、次いで「10%くらい高くても購入したい」(24.3%)、「20%くらい高くても購入したい」(9.8%)の回答が続く。
・広島県や大阪府では、「少しでも高かったら購入しない」が最多回答である一方、「30%くらい高くても購入したい」や「50% (1.5倍) 以上高くても購入したい」と回答した者も約8%いることから、値段が高くても有機食品を購入したいという意向も持っていることがうかがえる。



▶ Q6-2 あなたは有機食品を購入するに当たって、通常の商品と比べてどのくらい価格が高くても購入しますか。

最も当てはまるものを1つお選びください。：嗜好品に近い食品（飲料、酒類等）

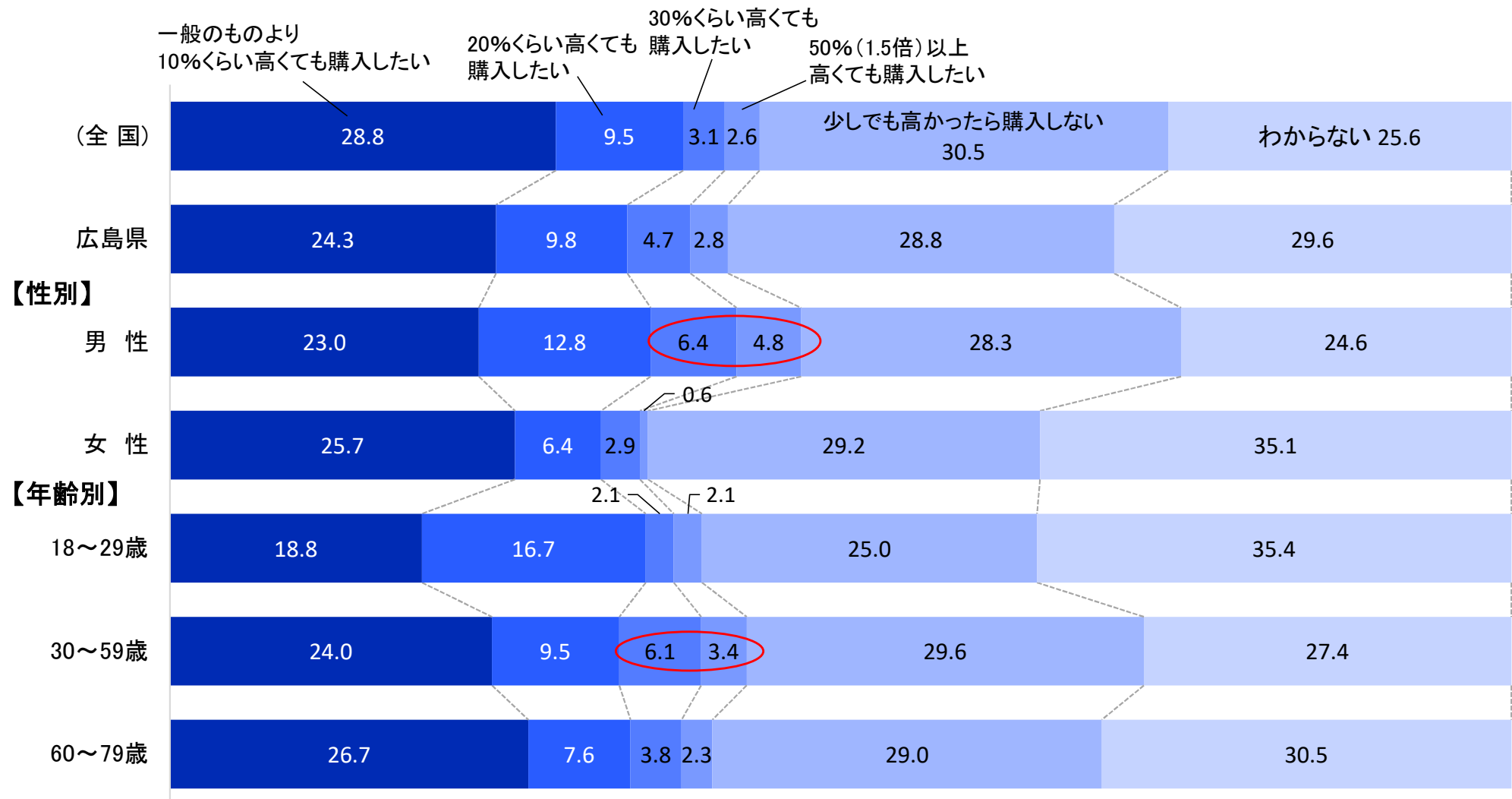
（事前のスクリーニング調査で「有機食品という言葉を知っている」という設問に「知らない」と回答した方を除く）

有機食品の購入価格に関する意向【広島県】性別・年齢別

・嗜好品に近い食品(飲料、酒類等)

広島県358名(男性187名、女性171名、18～29歳48名、30～59歳代179名、60～70歳代131名)

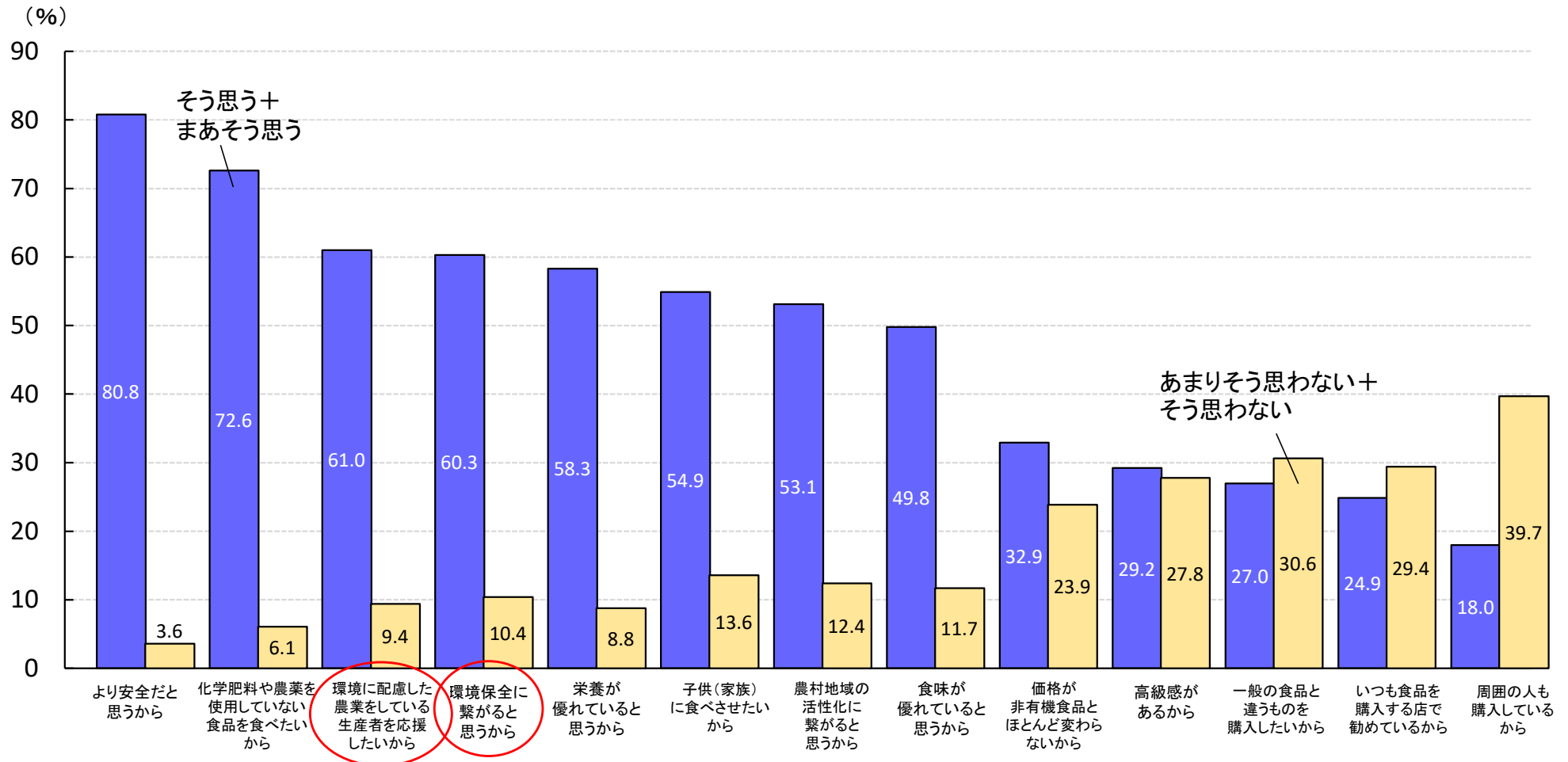
- ・有機食品で嗜好品に近い飲料、酒類等の食品を購入する場合、男性のほうが値段が高くても購入したいという意向を持っていることがうかがえる。
- ・年齢別では、30～59歳で「少しでも高かったら購入しない」(29.6%)と回答する者がいる一方、「30%くらい高くても購入したい」(6.1%)や「50%(1.5倍)以上高くても購入したい」(3.4%)と回答する者もいることがうかがえる。



有機食品を利用する理由【全国】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

・有機食品を利用する理由として、最多回答は「より安全だと思うから」(80.8%)、次いで「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(72.6%)、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」(61.0%)、「環境保全に繋がると思うから」(60.3%)の回答が続く。
 ・安全志向が多い一方、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」、「環境保全に繋がると思うから」と回答した者がそれぞれ約6割いることから、有機食品を購入することで環境に配慮した取組を行っている生産者を応援したいという思いが感じられる。



▶ Q7 有機食品を利用する理由は何ですか。各項目につき5択からお選びください。

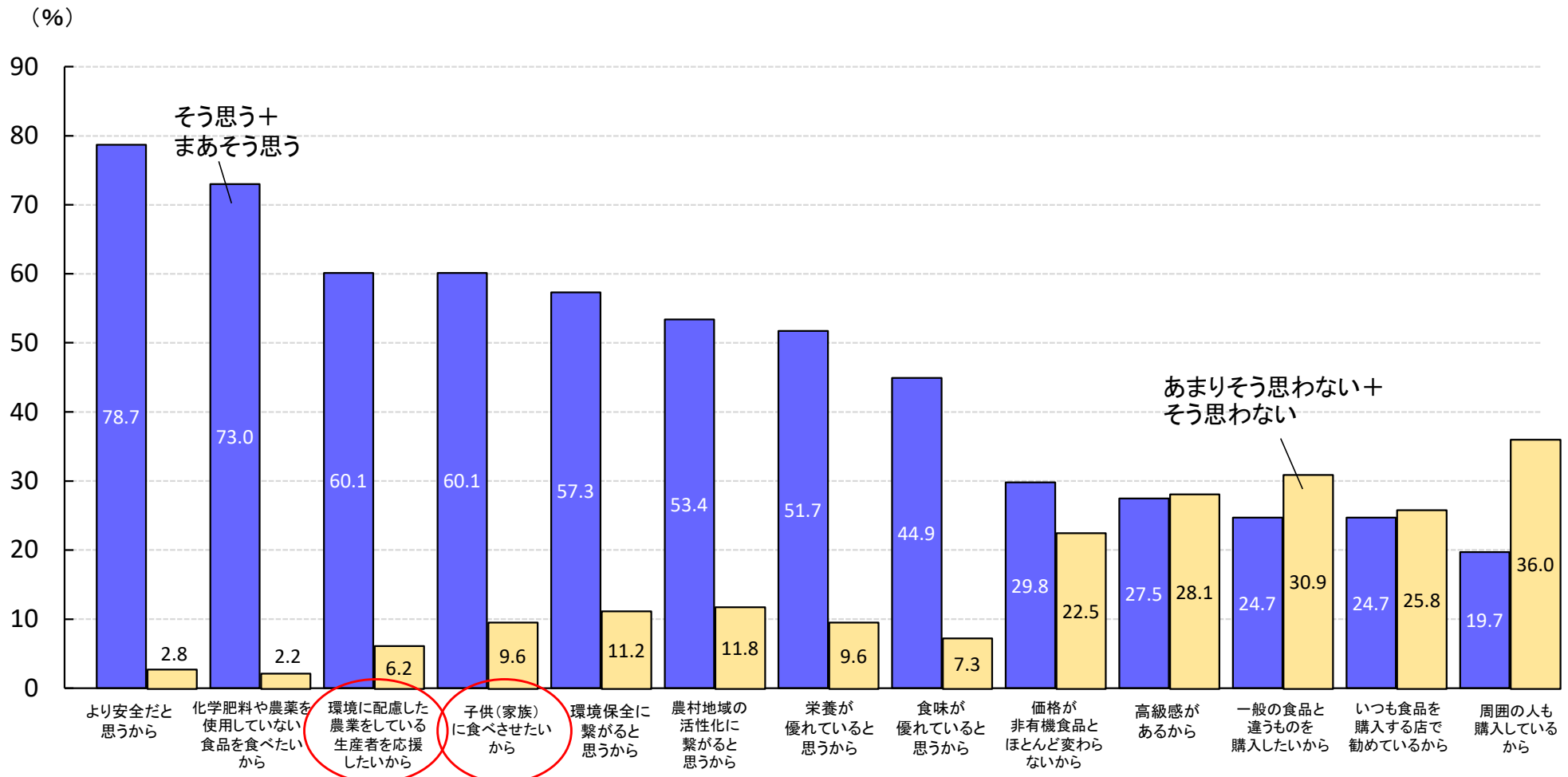
(事前のスクリーニング調査で「有機食品を利用する」(ほぼ毎日～年に1回程度)と回答した方のみ回答)

有機食品を利用する理由【広島県】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県178名

・有機食品を利用する理由として、最多回答は「より安全だと思うから」(78.7%)、次いで「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(73.0%)、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」(60.1%)、「子供(家族)に食べさせたいから」(60.1%)の回答が続く。
 ・全国と同様に、有機食品を購入することで環境に配慮した取組を行っている生産者を応援したいという思いが感じられる。また、子供や家族に有機食品を食べさせたいと考える者も多いことがうかがえる。

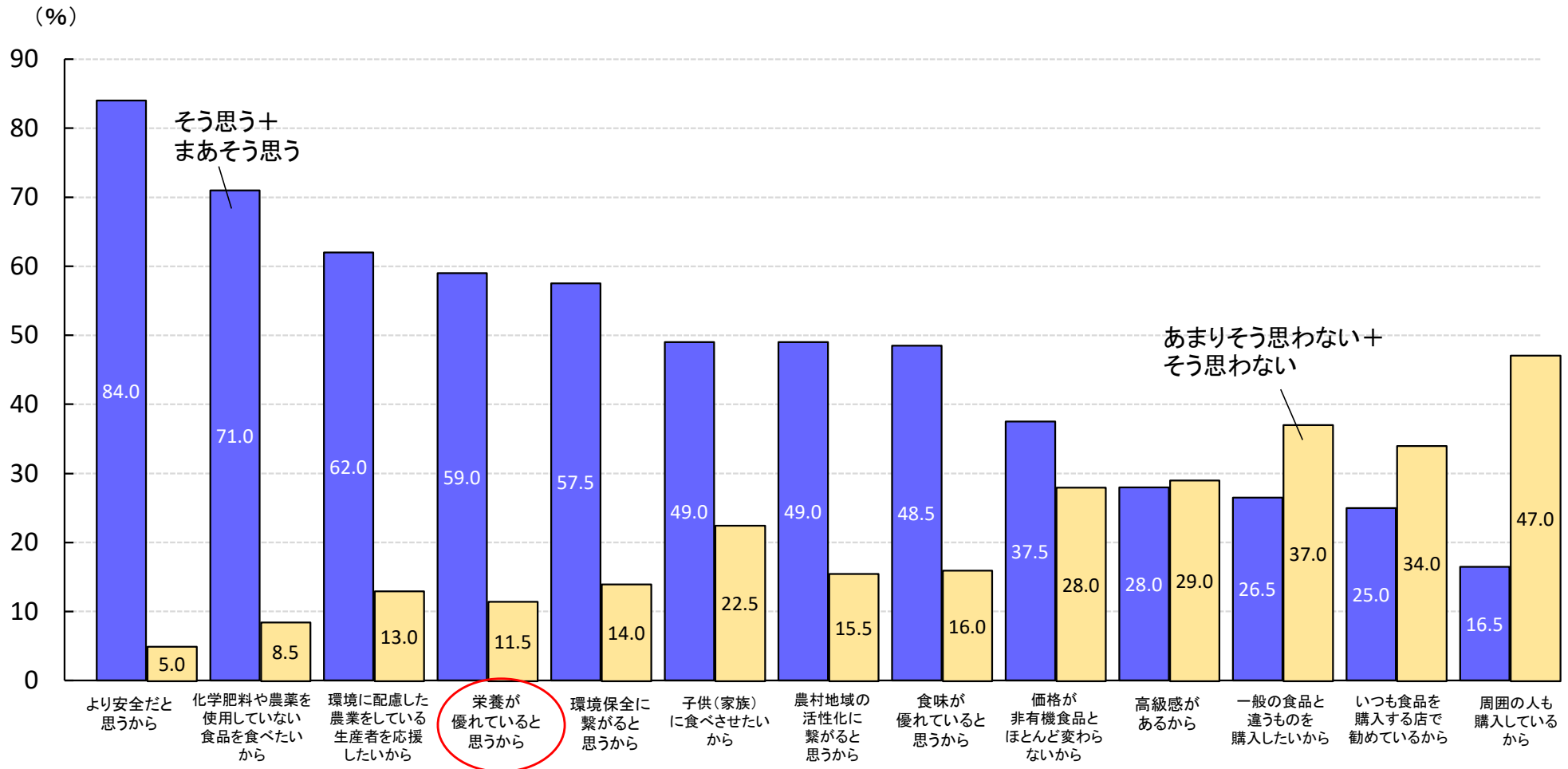


有機食品を利用する理由【東京都】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

東京都200名

・有機食品を利用する理由として、最多回答は「より安全だと思うから」(84.0%)、次いで「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(71.0%)、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」(62.0%)、「栄養が優れていると思うから」(59.0%)の回答が続く。
・広島県に比べ、有機食品のほうが一般食品より栄養価が高いと考えている者が約6割と多い(広島県は51.7%)ことがうかがえる。

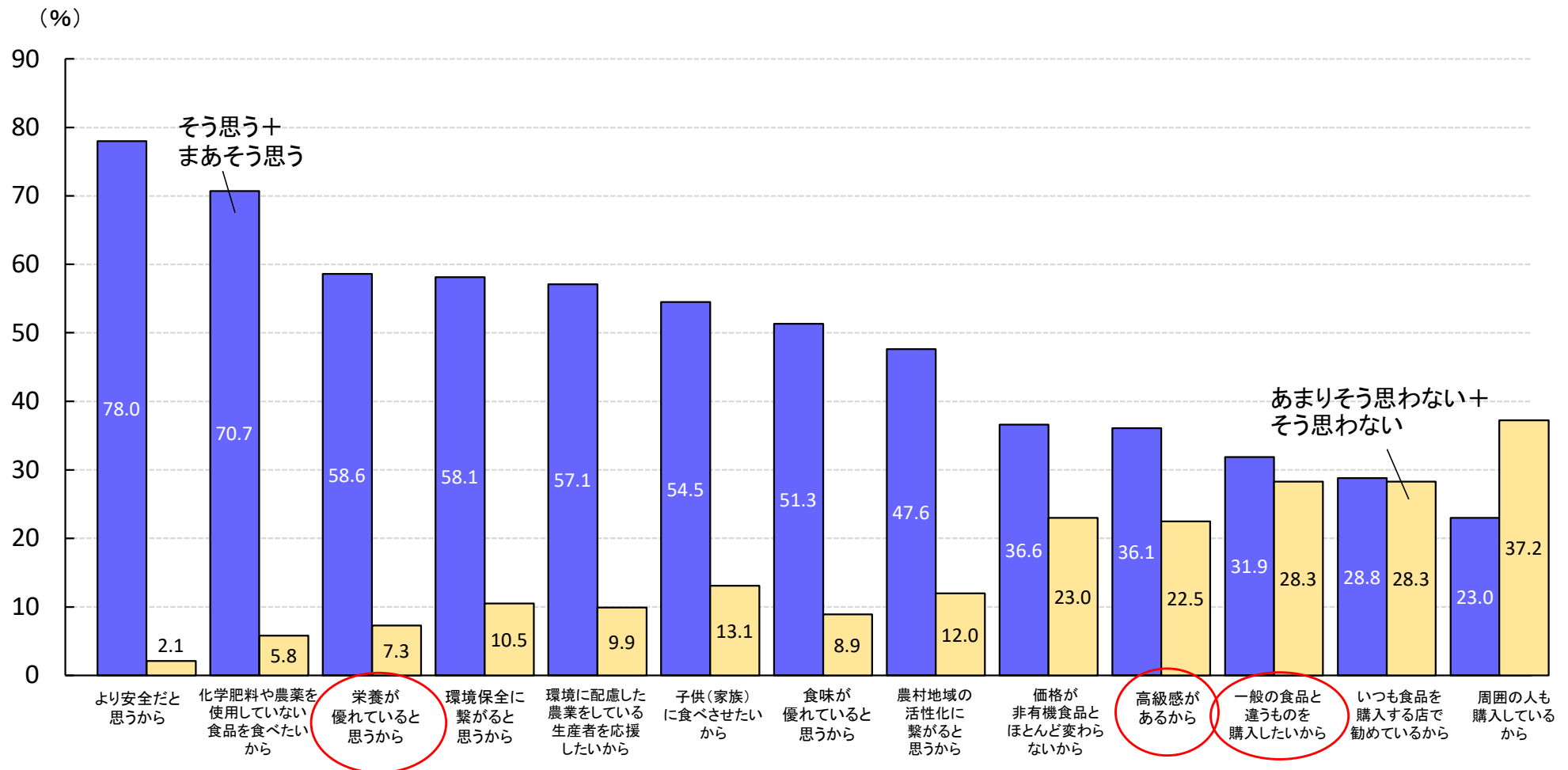


有機食品を利用する理由【大阪府】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

大阪府191名

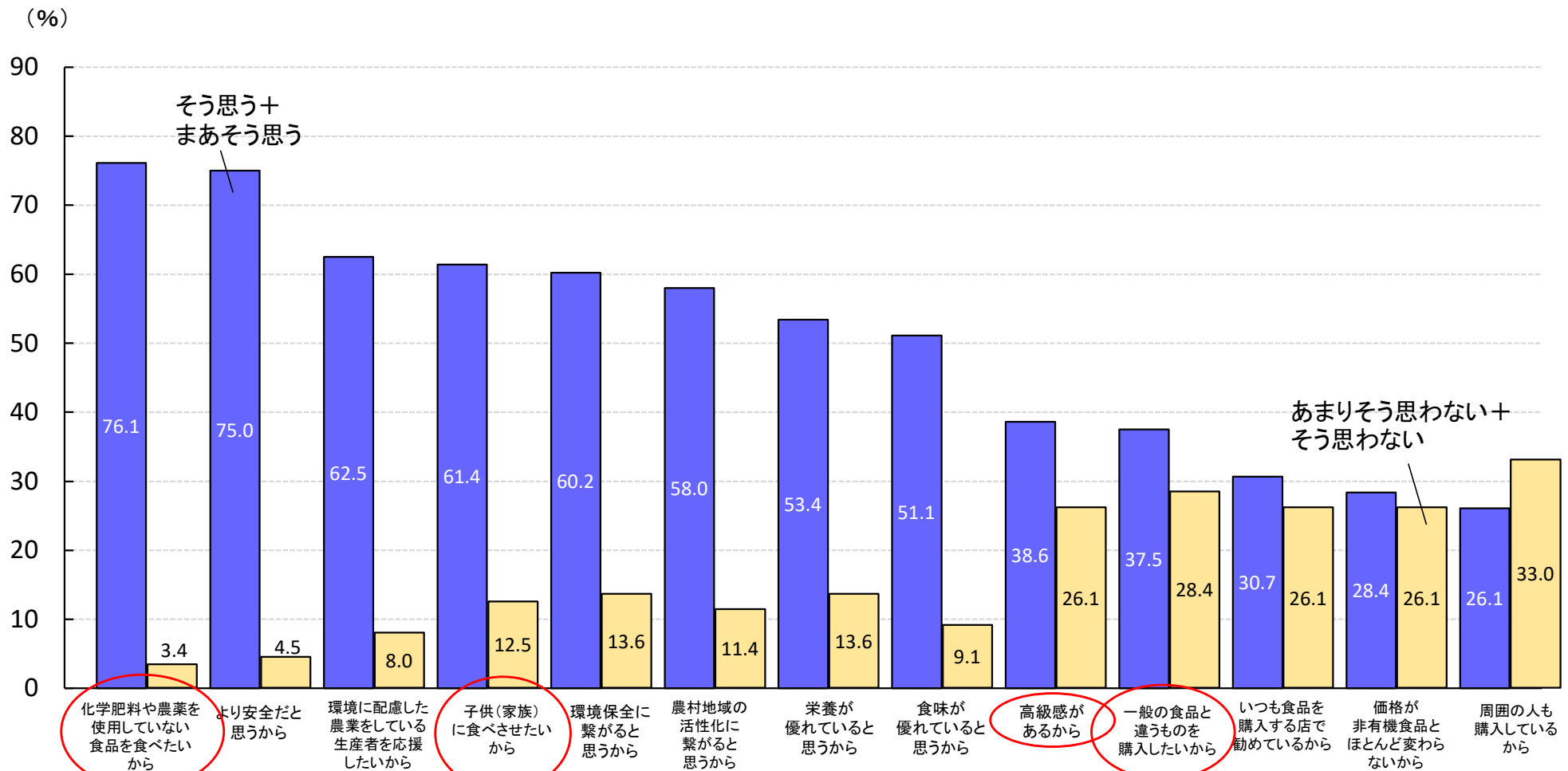
・有機食品を利用する理由として、最多回答は「より安全だと思うから」(78.0%)、次いで「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(70.7%)、「栄養が優れていると思うから」(58.6%)、「環境保全に繋がると思うから」(58.1%)の回答が続く。
 ・広島県に比べ、有機食品のほうが一般食品より栄養価が高いと考えている者が約6割と多い(広島県は51.7%)ことがうかがえる。また、広島県(男性)と同様に、「高級感があるから」(36.1%)、「一般の食品と違うものを購入したいから」(31.9%)など、特別感を理由に挙げる者もいることがうかがえる。



有機食品を利用する理由【広島県(男性)】 ※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県(男性)88名

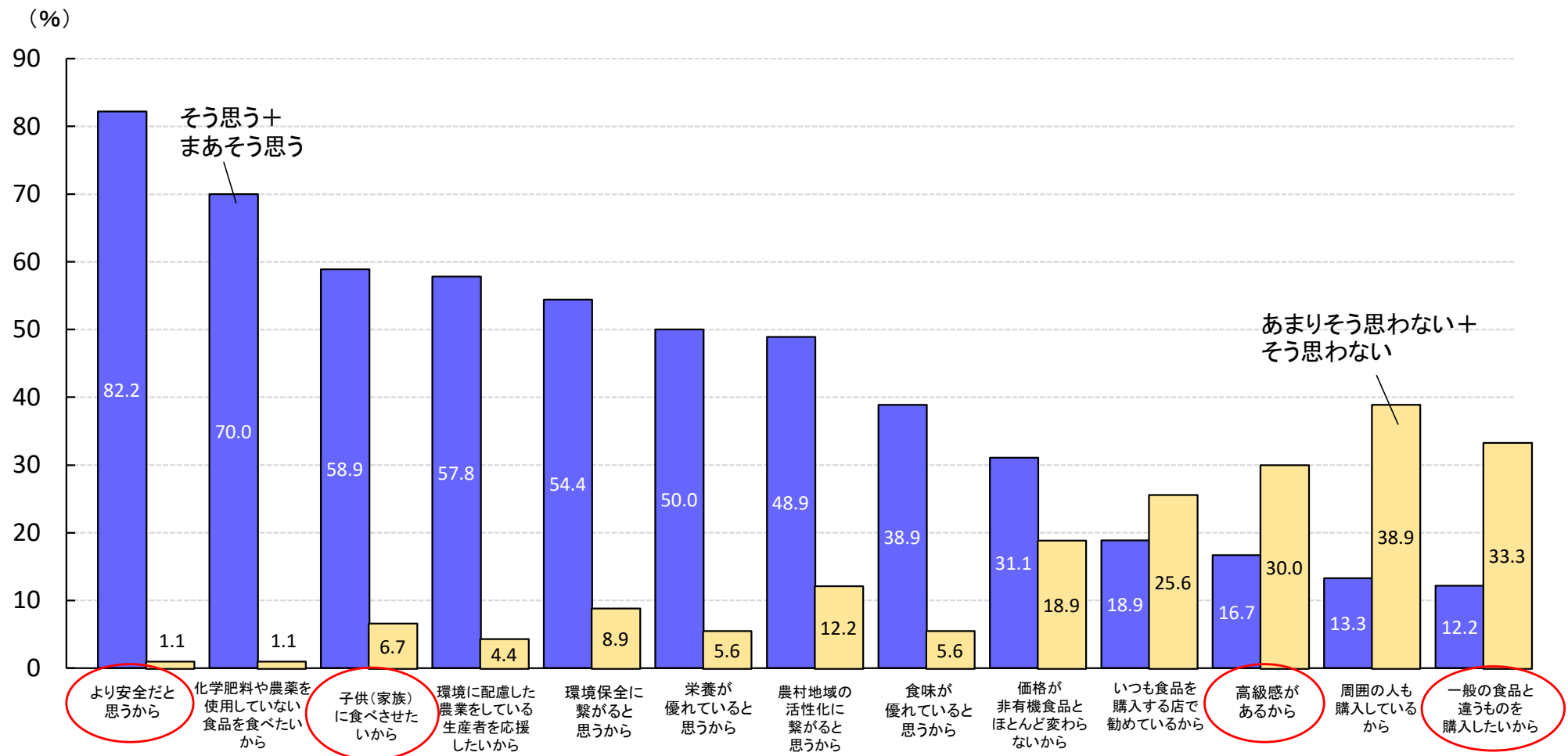
- ・有機食品を利用する理由として、最多回答は「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(76.1%)、次いで「より安全だと思うから」(75.0%)、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」(62.5%)、「子供(家族)に食べさせたいから」(61.4%)の回答が続く。
- ・「高級感があるから」(38.6%)、「一般の食品と違うものを購入したいから」(37.5%)など、特別感を理由に挙げる者もいることがうかがえる。



有機食品を利用する理由【広島県(女性)】 ※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県(女性)90名

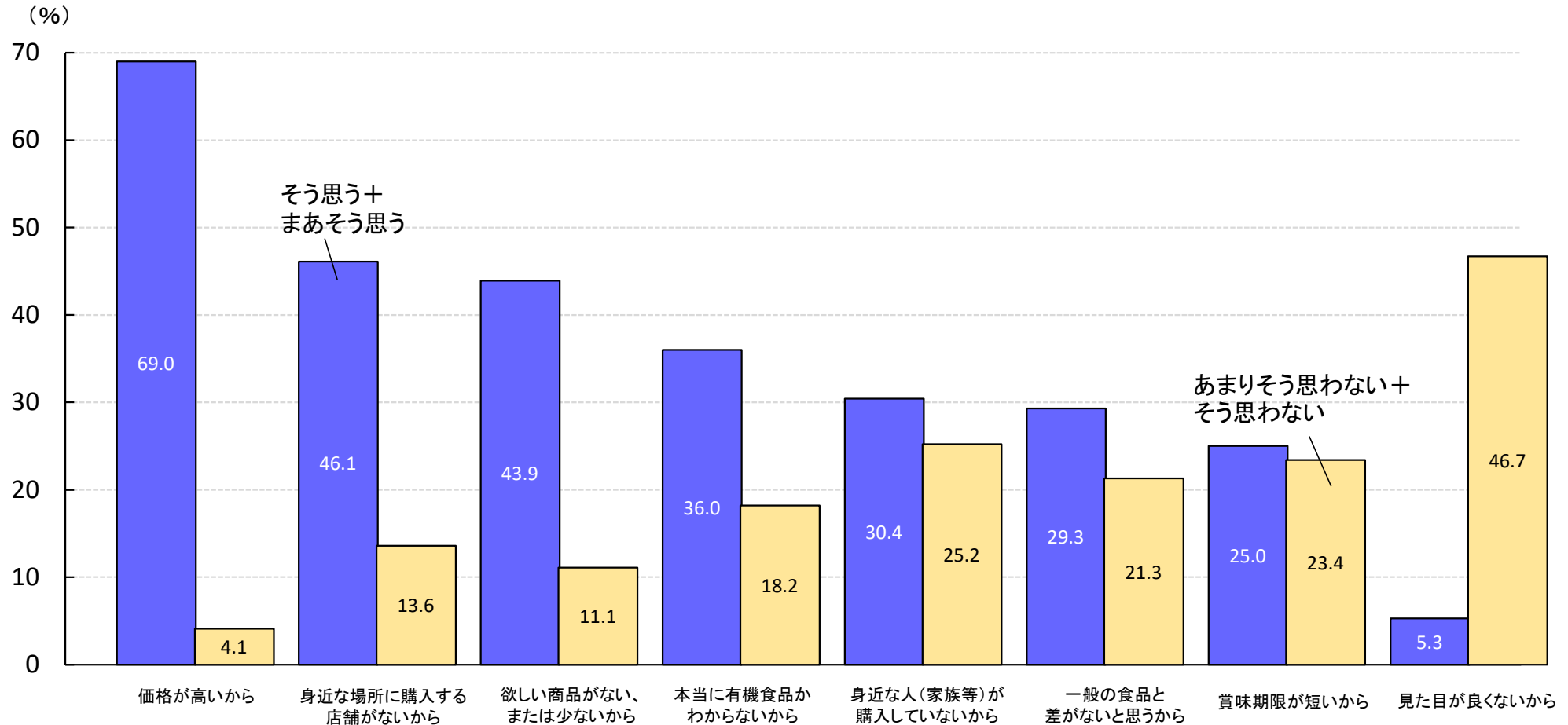
・有機食品を利用する理由として、最多回答は「より安全だと思うから」(82.2%)、次いで「化学肥料や農薬を使用していない食品を食べたいから」(70.0%)、「子供(家族)に食べさせたいから」(58.9%)、「環境に配慮した農業をしている生産者を応援したいから」(57.8%)の回答が続く。
 ・男性では「そう思う+まあそう思う」の回答のほうが多かった「高級感があるから」、「一般の食品と違うものを購入したいから」について、女性は「あまりそう思わない+そう思わない」の回答のほうが多いことがうかがえる。



有機食品を利用しない理由【全国】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

・有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(69.0%)、次いで「身近な場所に購入する店舗がないから」(46.1%)、「欲しい商品がない、または少ないから」(43.9%)、「本当に有機食品かわからないから」(36.0%)の回答が続く。
 ・「見た目が良くないから」(5.3%)と回答した者は少ないことがうかがえる。



▶ Q8 あなたが有機食品を利用しない理由は何ですか。各項目につき5択からお選びください。

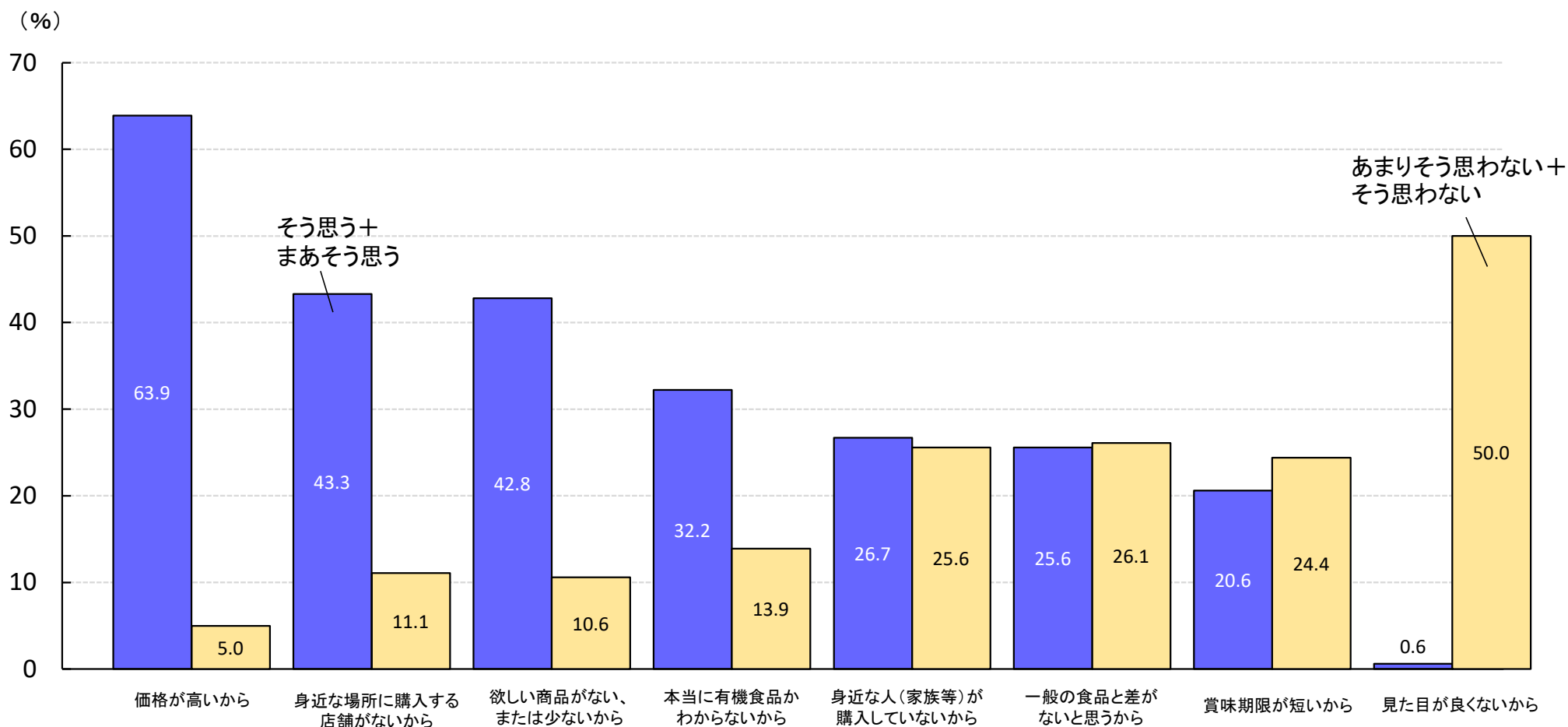
(事前のスクリーニング調査で「有機食品を以前は利用していた」「全く利用したことがない」「わからない」と回答した方のみ回答)

有機食品を利用しない理由【広島県】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県180名

・有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(63.9%)、次いで「身近な場所に購入する店舗がないから」(43.3%)、「欲しい商品がない、または少ないから」(42.8%)、「本当に有機食品かわからないから」(32.2%)の回答が続く。
・「見た目が良くないから」(0.6%)と回答した者は少ないことがうかがえる。

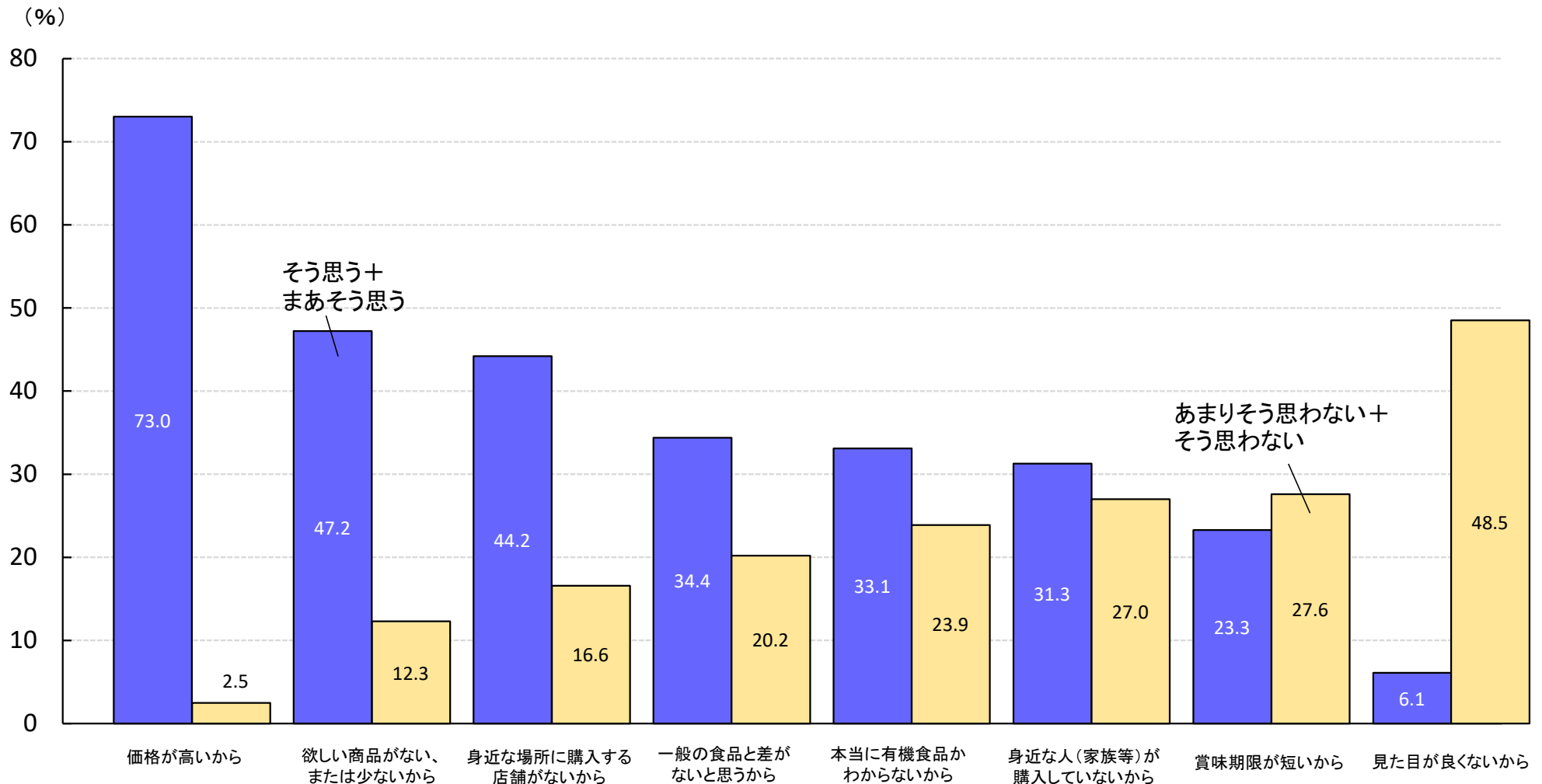


有機食品を利用しない理由【東京都】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

東京都163名

・有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(73.0%)、次いで「欲しい商品がない、または少ないから」(47.2%)、「身近な場所に購入する店舗がないから」(44.2%)、「一般の食品と差がないと思うから」(34.4%)の回答が続く。
・広島県に比べ、価格が高いと回答した者が多いこと(広島県63.9%)、一般の食品と有機食品との差を感じないと回答した者が多いこと(広島県25.6%)、見た目を理由に挙げた者が多いこと(広島県0.6%)がうかがえる。

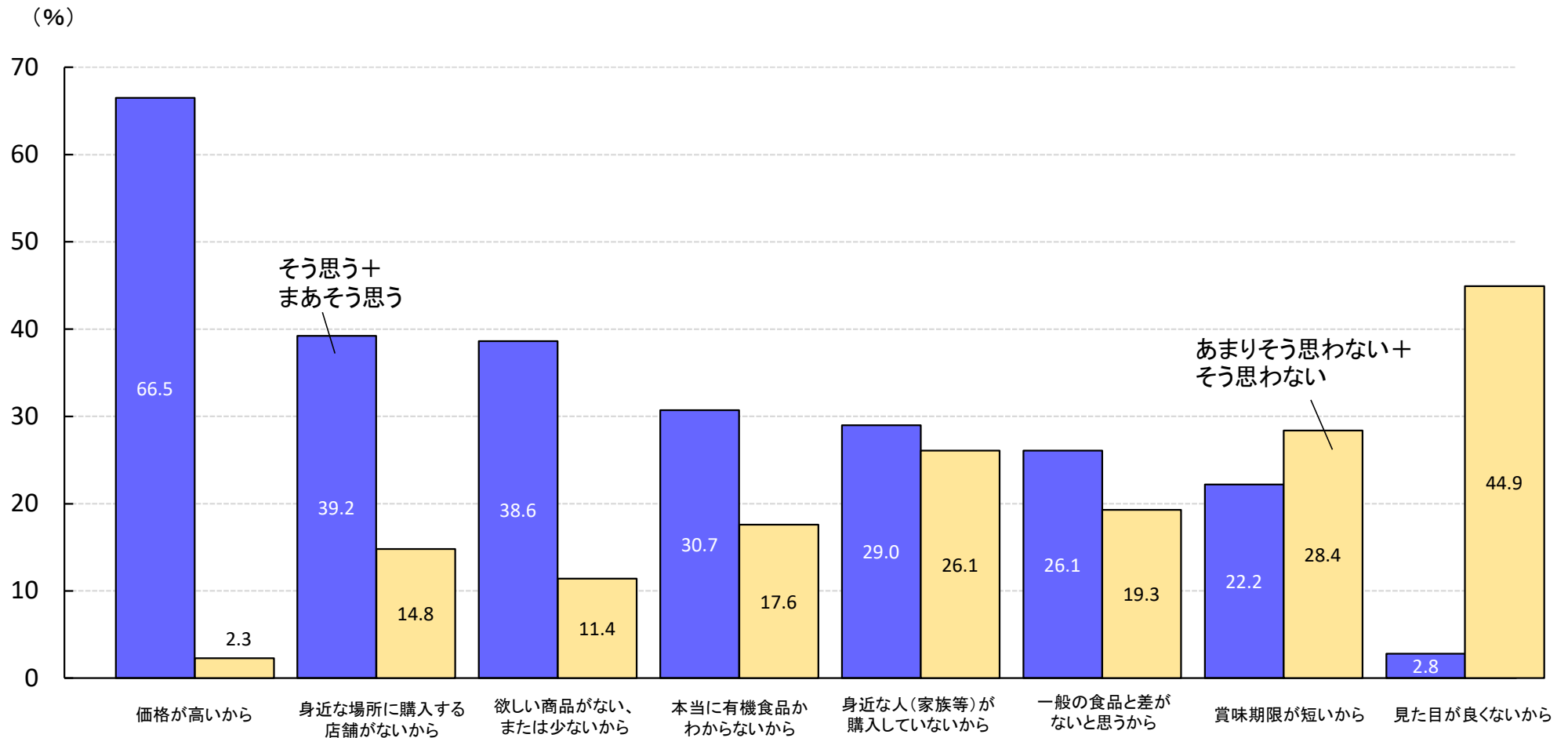


有機食品を利用しない理由【大阪府】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

大阪府176名

- ・有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(66.5%)、次いで「身近な場所に購入する店舗がないから」(39.2%)、「欲しい商品がない、または少ないから」(38.6%)、「本当に有機食品かわからないから」(30.7%)の回答が続く。
- ・広島県と大阪府は似た傾向にあり、比率の多少はあるものの、ほぼ同様の理由であることがうかがえる。

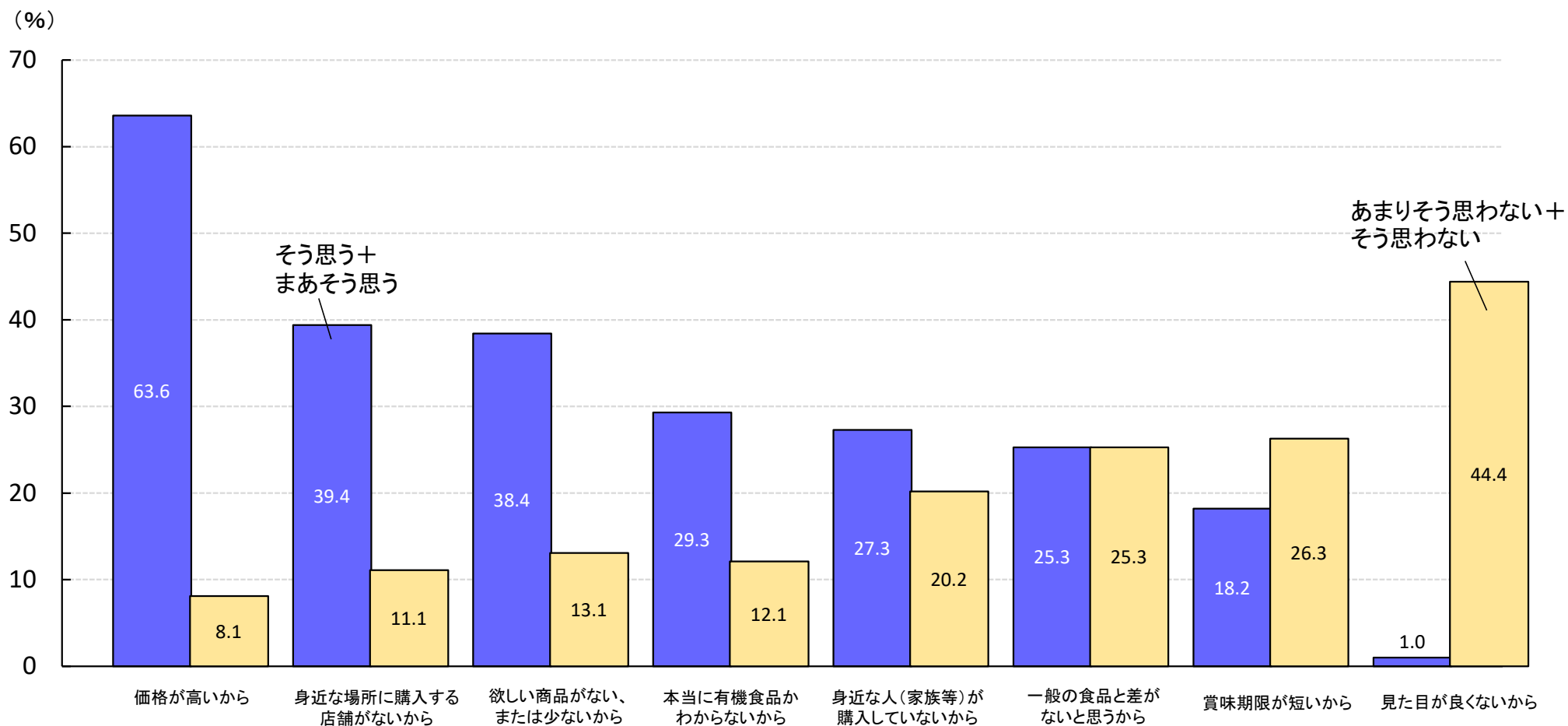


有機食品を利用しない理由【広島県（男性）】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県（男性）99名

・男性は、有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(63.6%)、次いで「身近な場所に購入する店舗がないから」(39.4%)、「欲しい商品がない、または少ないから」(38.4%)、「本当に有機食品かわからないから」(29.3%)の回答が続く。

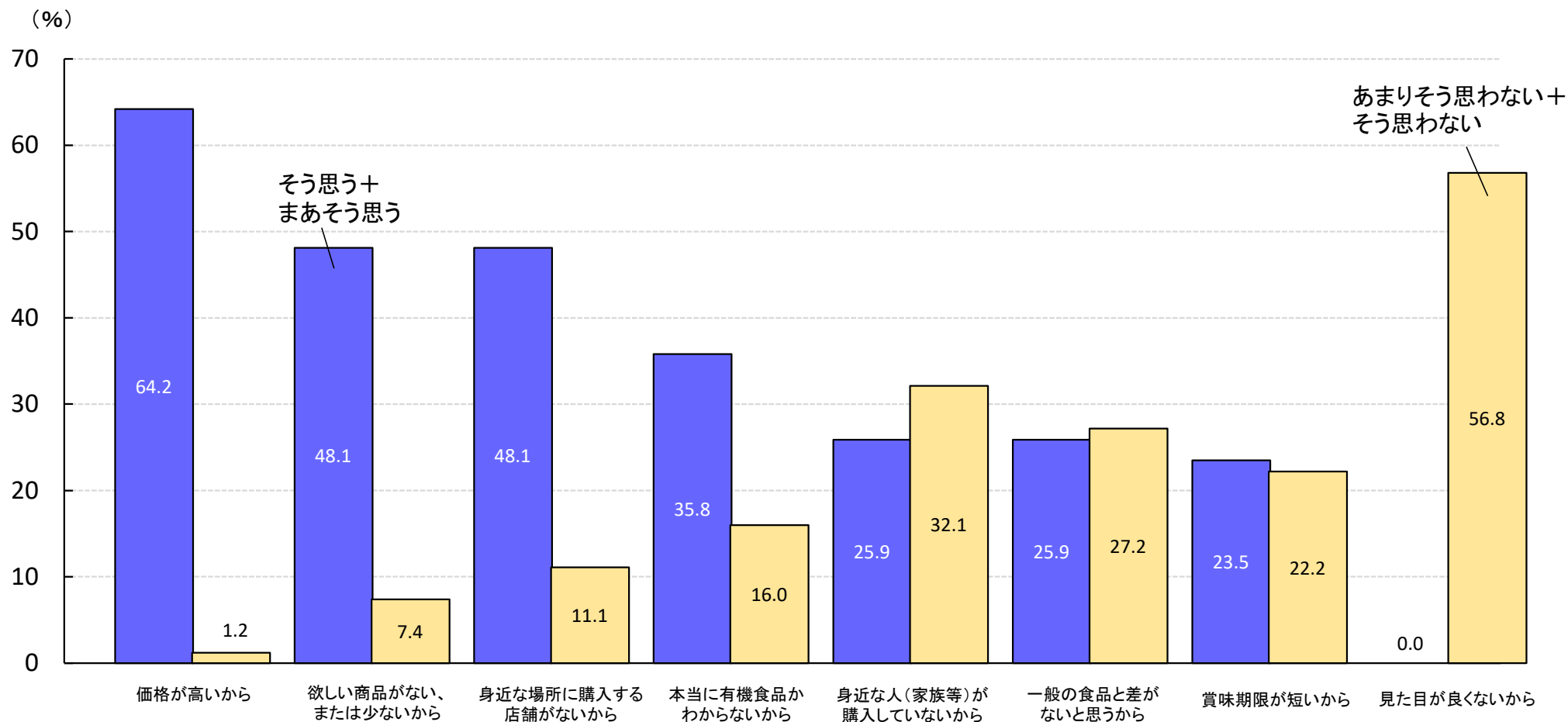


有機食品を利用しない理由【広島県（女性）】

※「どちらともいえない」と回答した方を除く

広島県（女性）81名

・女性は、有機食品を利用しない理由として、最多回答は「価格が高いから」(64.2%)、次いで「欲しい商品がない、または少ないから」(48.1%)、「身近な場所に購入する店舗がないから」(48.1%)、「本当に有機食品かわからないから」(35.8%)の回答が続く。
・欲しい商品の少なさや、身近に購入できる店舗がない等、購入意欲はあるものの身近に購入できる環境が整っていないことを理由に挙げている者が多いことがうかがえる。

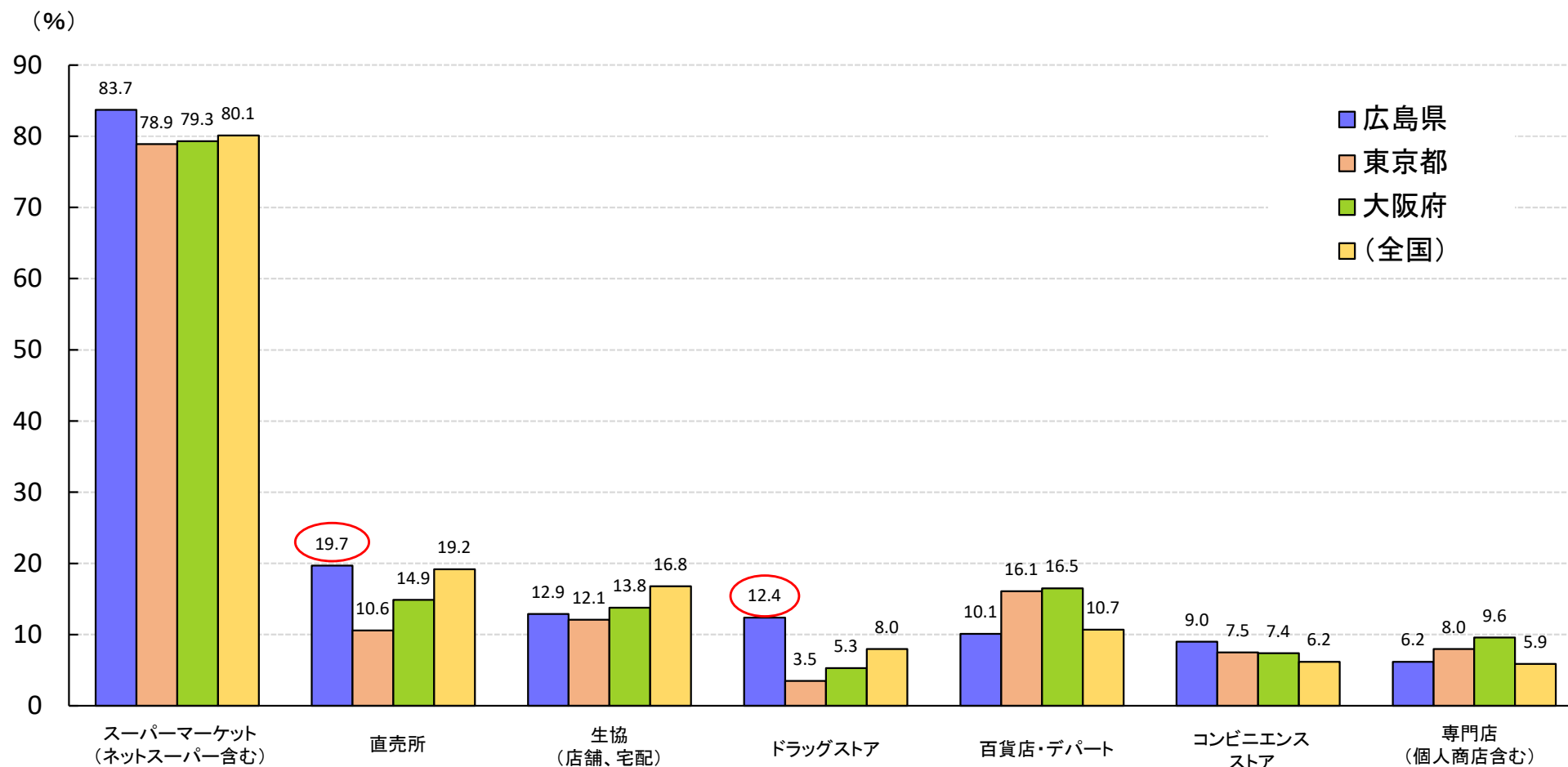


有機食品の購入先【都府県別】

※広島県で上位7位までの購入先を表示

広島県178名、東京都199名、大阪府188名

・有機食品の購入先として、最多回答は「スーパーマーケット(ネットスーパー含む)」で、広島県では「直売所」(19.7%)や「ドラッグストア」(12.4%)の比率が高く、直売所やドラッグストアが有機食品の購入先となっていることがうかがえる。



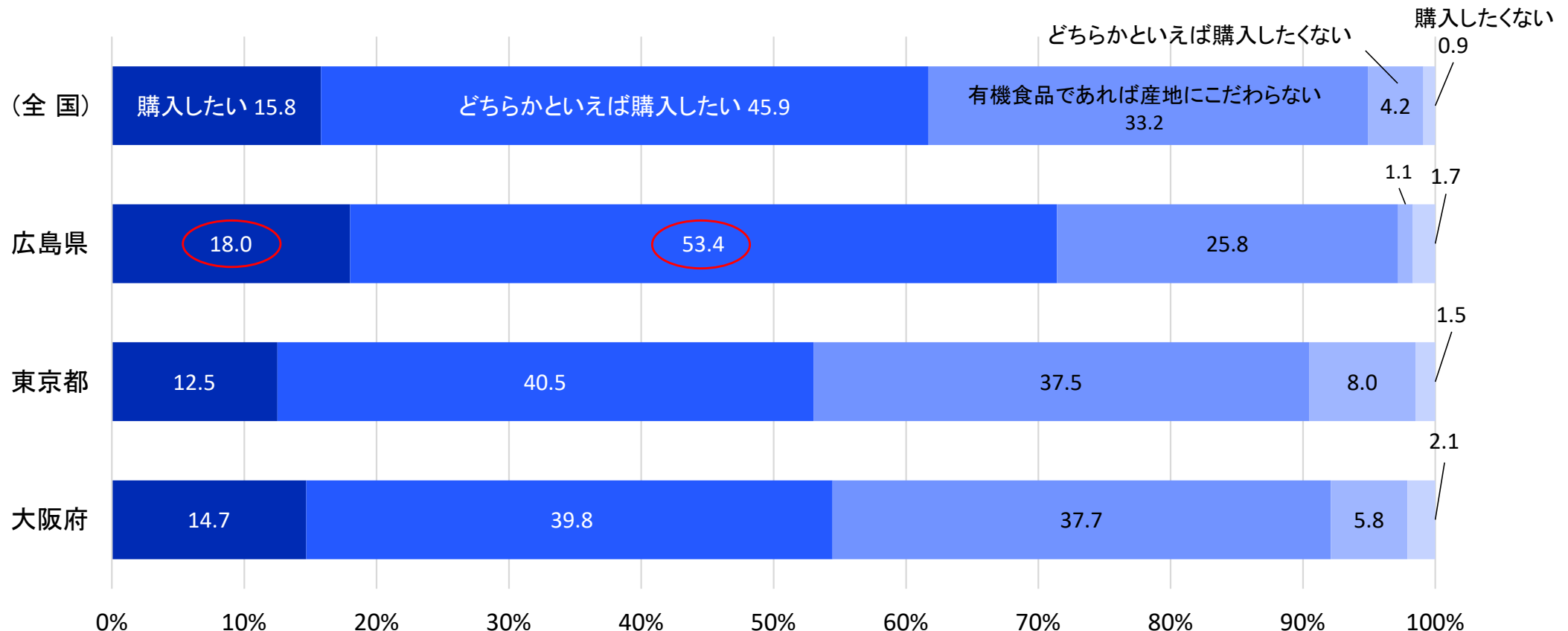
▶ Q9 あなたは普段、どこで有機食品を購入しますか。それぞれ当てはまるものをすべてお選びください。

(別の設問で「普段、食品・食材の購入を行う」(ほぼ毎日～年に1回程度)と回答した方のみ回答)

居住都道府県内で生産された有機食品の購入意向【都府県別】

広島県178名、東京都200名、大阪府191名

・広島県は、自県で生産された有機食品を「購入したい」(18.0%)、「どちらかといえば購入したい」(53.4%)と回答した者の比率があわせて7割以上となり、東京都や大阪府に比べ、自県産の有機食品を購入したいとの意向を持っていることがうかがえる。



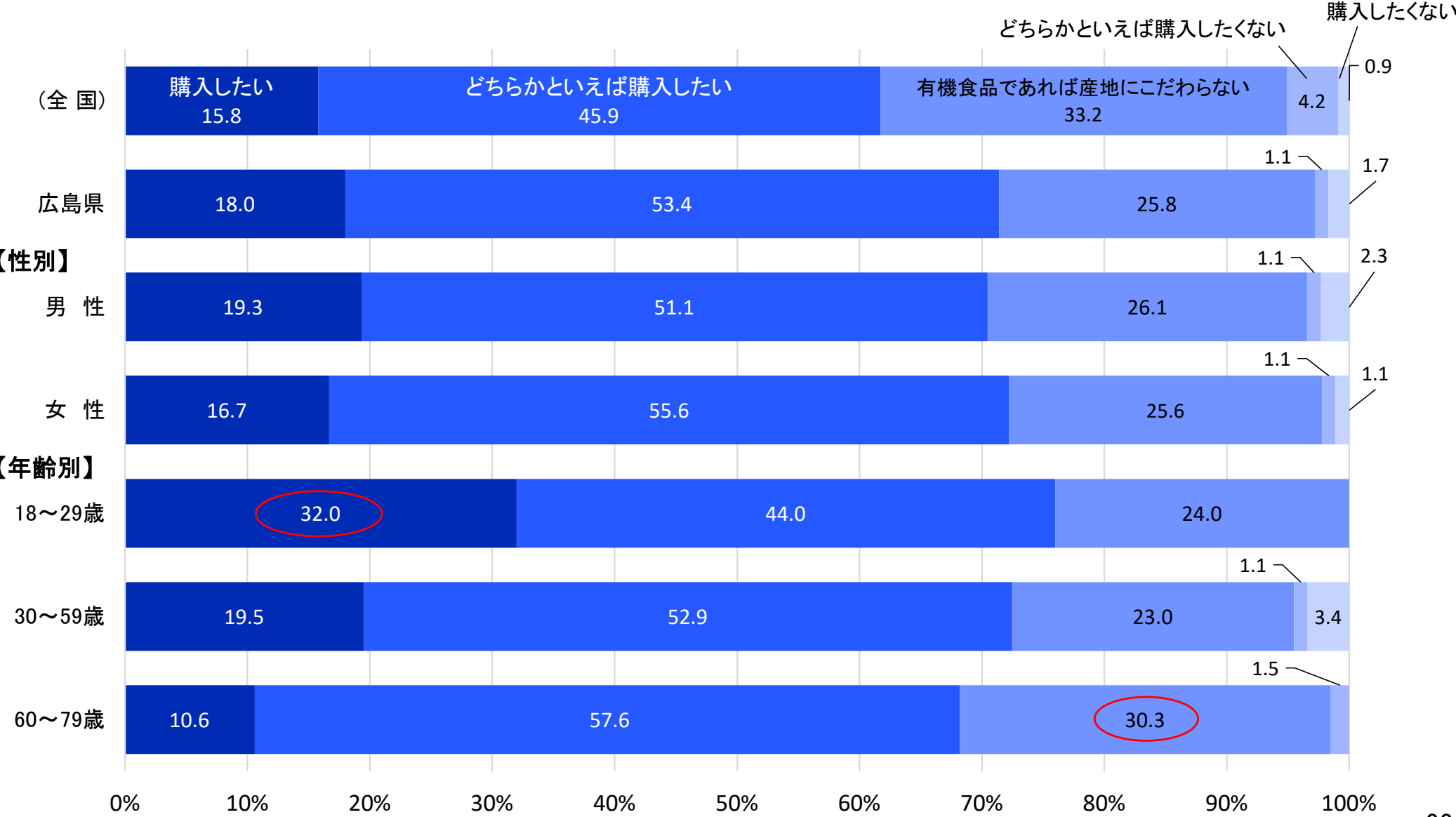
▶ Q10 居住する都道府県内で生産された有機食品を購入したいと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

(事前のスクリーニング調査で「有機食品を利用する」(ほぼ毎日～年に1回程度)と回答した方のみ回答)

居住都道府県内で生産された有機食品の購入意向【広島県】性別・年齢別

広島県178名（男性88名、女性90名、18～29歳25名、30～50歳代87名、60～70歳代66名）

・どちらも約7割強の者が自県産の有機食品を購入したいとの意向を持っており、性別による意向の差はみられない。
・年齢別では、18～29歳の若年層で自県産を購入したいとの意向を持っている者が多いことがうかがえる。また、60～79歳では「有機食品であれば産地にこだわらない」（30.3%）と回答した者が他の年齢層より若干多いことがうかがえる。

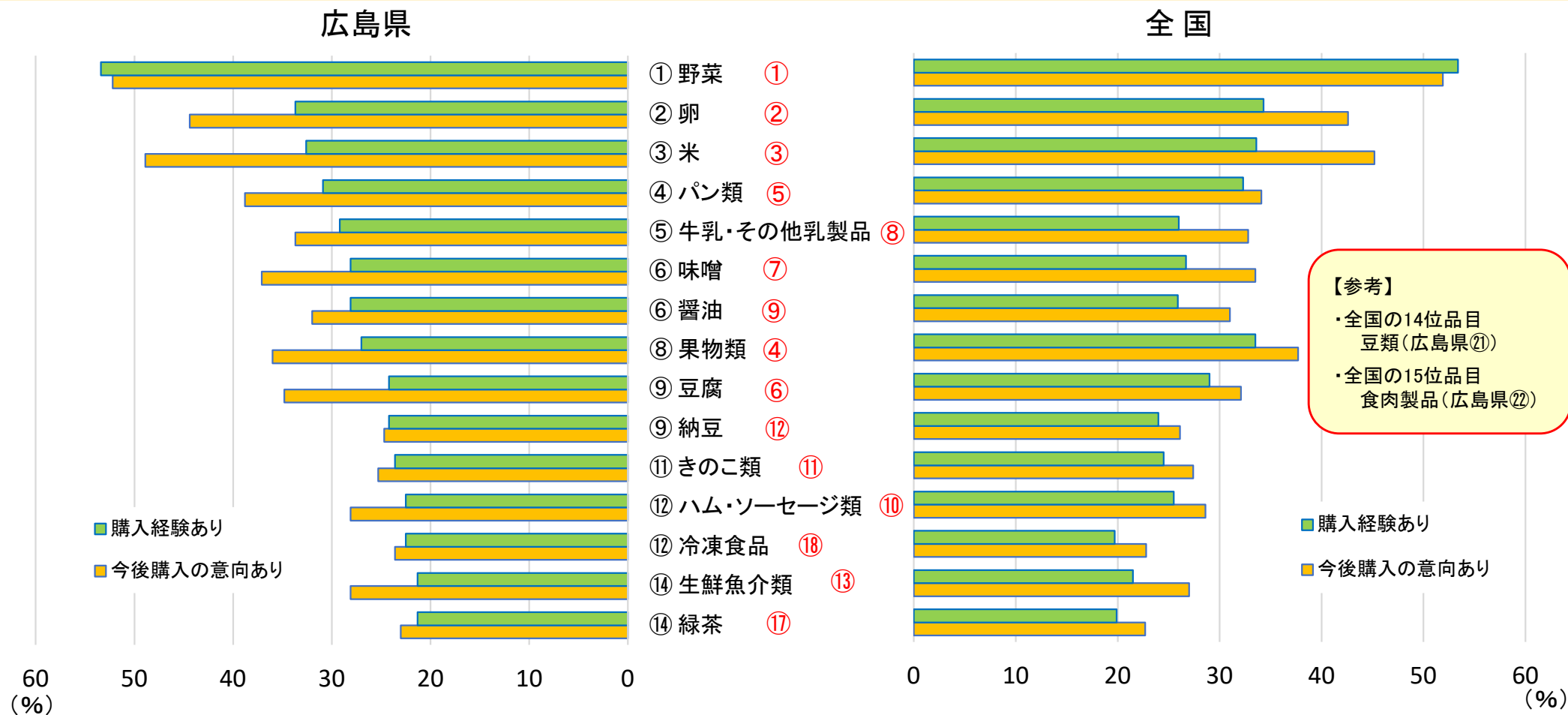


過去の購入経験と今後の購入意向(有機食品)

【広島県(上位15品目)と全国との比較】 ※赤字の○は全国の順位

広島県178名

- ・過去1年間に購入した経験がある品目は、どちらも「野菜」が最も多く、次いで「卵」、「米」と続く。
- ・広島県は「牛乳・その他乳製品」が、全国では「果物類」が上位に挙げられている。
- ・今後購入したいと思う品目は、購入経験同様、どちらも「野菜」が最も多く、「米」、「卵」、「パン類」、「果物類」、「豆腐」や「味噌」、「醤油」などの大豆を原料とした品目が上位に挙げられている。



▶ Q11 あなたが過去1年間で一度でも購入したことがある有機食品を教えてください。(複数回答可)

また、今後あなたが購入したいと思う有機食品を教えてください。(複数回答可)

(事前のスクリーニング調査で「有機食品を利用する」(ほぼ毎日～年に1回程度)と回答した方のみ回答)

過去の購入経験と今後の購入意向(有機食品)

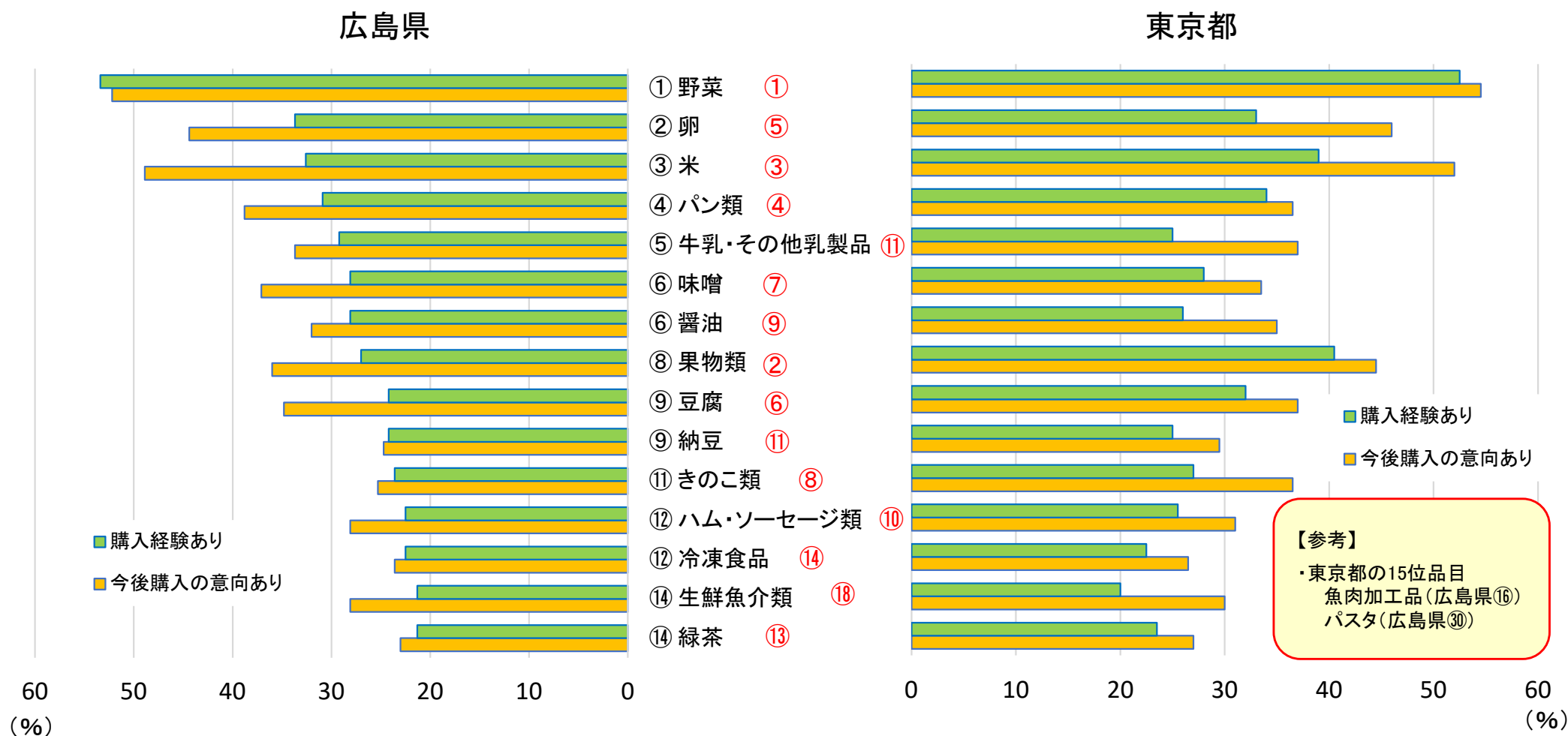
【広島県(上位15品目)と東京都との比較】

※赤字の○は東京都の順位

広島県178名、東京都200名

・過去1年間に購入した経験がある品目は、どちらも「野菜」が最も多く、次いで広島県は「卵」、「米」、東京都は「果物類」、「米」と続いており、広島県は東京都に比べ「卵」、「牛乳・その他乳製品」など畜産物が上位に挙がっている。

・今後購入したいと思う品目は、どちらも「野菜」が最も多く、「米」、「卵」、「果物類」、「豆腐」や「醤油」などの大豆を原料とした品目が上位に挙がっている。また、東京都では「きのこ類」の比率も高いことがうかがえる。



過去の購入経験と今後の購入意向(有機食品)

【広島県(上位15品目)と大阪府との比較】

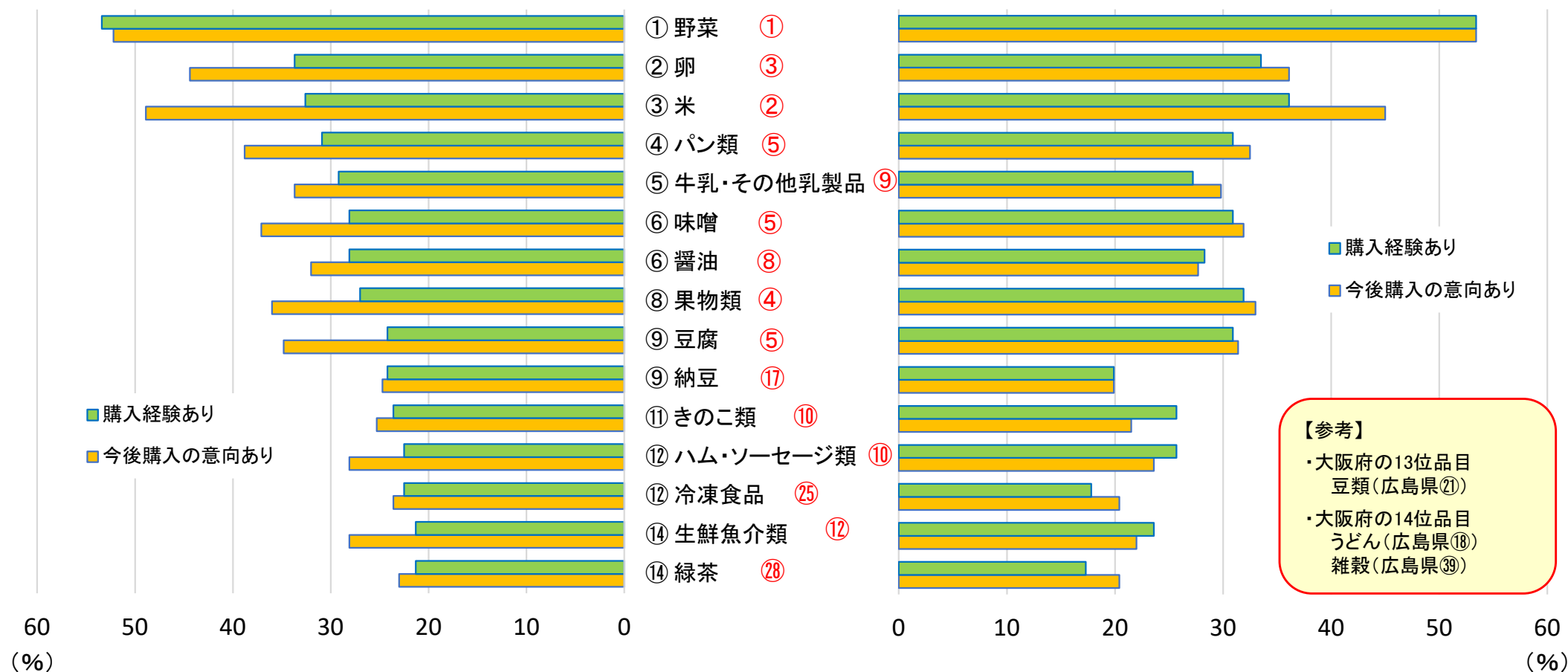
※赤字の○は大阪府の順位

広島県178名、大阪府191名

- ・過去1年間に購入した経験がある品目は、どちらも「野菜」が最も多いが、大阪府は「果物類」、広島県は「牛乳・その他乳製品」が上位に挙がっている。
- ・今後購入したいと思う品目は、どちらも「野菜」が最も多いが、「米」の購入意向も高いことがうかがえる。
- ・大阪府は、実際の購入経験と今後の購入意向に差がなく、購入した経験のある品目を今後も購入したいと考えていることがうかがえる。

広島県

大阪府



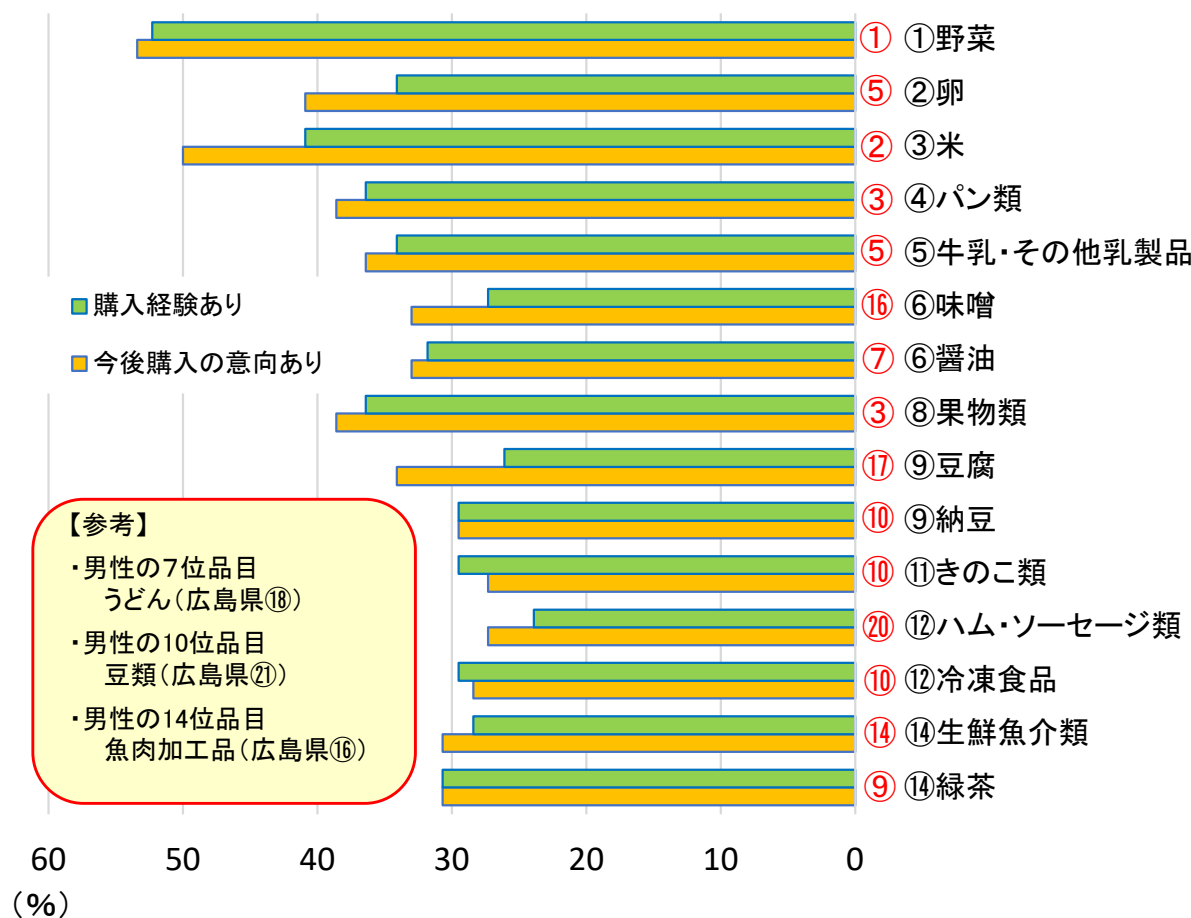
過去の購入経験と今後の購入意向(有機食品) 【広島県(上位15品目)の性別比較】

※赤字の○は広島県における上位15品目順位に対する各性別の順位

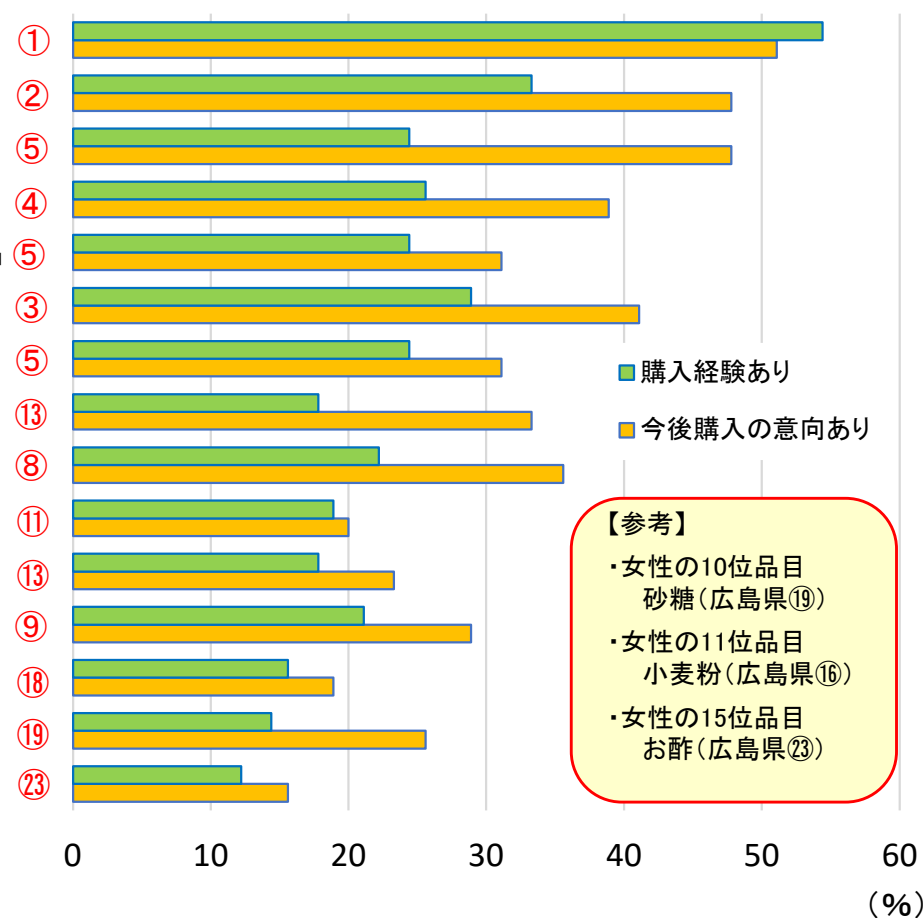
広島県(男性)88名、広島県(女性)90名

- ・過去1年間に購入した経験がある品目は、性別を問わず「野菜」が最も多く、次いで男性は「米」、「パン類」、「果物類」が、女性は「卵」、「味噌」が続く。
- ・今後購入したいと思う品目は、購入経験同様、「野菜」が最も多く、「米」や「卵」、「果物類」、「パン類」、「牛乳・その他乳製品」、「味噌」や「豆腐」など大豆由来の品目が上位に挙がっている。
- ・男性は購入経験と今後の購入意向に大差はないが、女性は未購入の品目も購入したいという意向を持っていることがうかがえる。

男性



女性





【お問合せ先】

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館6階

中国四国農政局広島県拠点

Tel: (082)228-9676